の規約等を明確にし、総理の關係では、経理の関係

(日曜木)

社員會代表

黨を組織

軍司令官訪問

野車で大連を出数、午一日午後電か返事と、一日午後電か返事と、一日午後

國民政府は重大なる影響に驚嘆するであらう
国民政府は重大なる影響に驚嘆するであらう
、資精術氏は義格氏と共に極力引音めに努力とてゐるが、策氏の決意は強慢でこの結果がにこの際一切の響戦を脱らやうさするのである、資精術氏は義権氏と共に極力引音めに努力とてゐるが、策氏の決意は強慢でこの結果がいこの際一切の響戦を脱らやうさするのである。資精術氏は義権の武装を組織して政権掌握を目指してゐる、東子英氏の進意は國民憲の武装にあきたらず、自己周圍の歐米派とともに一黨を組織して政権掌握を目指してゐる、東子英氏の進意は國民憲の武装にあるため、東子英氏の進意は國民政府は重大なる影響に驚嘆するであらう

宋氏、歐米派を中心に畫策

軍部案の再吟味

傍系事業の分離獨立

一大に振立せらむるとな、佐会に であるが、新情熱は整っ飲味さな維持 かと総合的総整の飲味さな維持 かと総合的総整の飲味さな維持 をであるが、新情熱は整っ飲味さな維持 とむる新酸な、更に合理的に反映で たる解析な、更に合理的に反映で かさ、新情熱は整った経 をであるが、新情熱は整った。 をであるが、また。 をできた。 をできた

郷堂に依める

一 酸に無数に難動することに なりと過去の事態な一般と

5

**仏務、陸軍兩者間に** 

湯玉麟部隊の

でで、 では、 19日間でいる。 本京特電 一日 發 』 満洲

省會議開催か

満鐵問題に關い

・ の三ヶ月右金額を支出せず、そ ・ を選近甲央が河北牧入統一のため総税總局を設けて以来八、九、 ・ との三ヶ月右金額を設けて以来八、九、

れに當てられ、外に省財政中より

ってゐるが問題は流鏡經營の最大「流鏡の希望もあり、近く東京で陸一般組業に對する空氣はそれとく襲」 るため中央の議に上すた談話さして、 
「東京一日養國通」職東軍の流鏡「聴業たるのみならず影響し重大な

総合の根本政策を基本さする国家 に至るべく財産を ないてるる。 に至るべく財産を はいてるる。

では、一方を車数の未搬でした。 ではころあった、一方を車数の未搬でした。 では、一方を車数の未搬である。



男 永 鈴 人行雙 治代書本橋 人輔編 盛武 村本 人馴印 地露一冊可聞公東市連大 社報日洲滿 社會式株 所行費

今有光商店 唱

凱 旋の

## けふ午後七時半と あす朝六時廿分着驛

ので春天に立ちるかう通知あった

(第眞は土肥原少将)

**大連第四埠頭** 

共進會及品評會等に開する事項

定案の批判を避り

進水式中止驅逐艦。初霜 初霜

滿洲

國發郵便に

補足

稅徵收不當

在滿外人、南京政府を糺弾

郷便法に達反するこの取扱ひは不

満鐵の改組に<br />
政府自重

舉行 1 式を取止める冒質告し 対な取止める冒質告し

『喉に雲れられた響であるが、それが中央の診響さなる場合如何なる決定を見るかさいふいに願心をもつてゐる棒戀である正案に、對して是非の論をなすことを得策ならずさら自取的態度を執つてゐるので、問題は一に鵬東軍、滿鑑問の及部案なるものを强行する意圖がなき事を知り、且つ關東軍ミ清鍵さの協議の周清なる邀行を散動し、この際未改部案なるものを强行する意圖がなき事を知り、且つ關東軍ミ清鍵さの協議の周清なる邀行を散動し、この際未了東京特電 日登』消襲略較問題について各省間にはいまだ正式の協議が行はれないが、政府一般の意向は軍部に所謂特

識な開き、 より三日間に食り本年度の遊繹東京一日養國通』将軍では二 一海軍進級會議

除除兵等に路警教育

**神智所開設** 

はさきに設定館から来佐の際級電 で表しく新京へ新田の喜びを述べ に行ったことに野する答應の意味 の語を贈き直見した、司空館の趣能 の語を贈するが、午後三時半より の語を贈きに設定館から来佐の際級電 で表よりも意見の開戦あるものと に行ったことに野する答應の意味 で表よりも意見の開戦あるものと で表よりも意見の開戦あるものと で表よりも意見の開戦あるものと で表よりも意見の開戦あるものと で表よりも意見の開戦あるものと で表よりも意見の開戦あるものと で表よりも意見の開戦があり、独蛇館間 できに指った表してるるが、午後三時半より の語を贈きたでは可であるが で表よりも意見の開戦かるものと できに指ったを受して できに指ったを受して できに指ったを受して できに指ったを受して。 変になった。 できに指ったを受して。 変になった。 できに指ったを受して。 変には一日要別が展出を対してもる。ことは可な できに指ったを受して。 変にの言うを観として職なを受した。 できに指ったを受して、事態が要素をの意要維持 一日入港はるびんだで来低した。 できに指った要した。 できに指ったを受して。 変にの三ケ版は二十八日突然変 を見つ。 など、事態が要素をの意要維持 一日入港はるびんだで来低した。 できに指った要した。 できに指った要した。 できに指った要した。 できに指った要した。 できに指った要した。 できに指った要した。 など、事態が要素をの意要性をでに避けつ。 変にの三ケ版は二十八日突然変 を完うし事態更の一質を触る多態。 をいて行歌手腕と変になるを表の意要性が について行歌手腕を変になるが について行歌手腕を変になるが について行歌手腕を変になるを について行歌手腕を変になるを について行歌手腕と変になるを について行歌手腕と変になるを について行歌手腕を変になるを について行歌手腕と変になるを について行歌手腕と変になるを について行歌手腕と変になるを について行歌手腕と変になるを について行歌手腕と変になるを について行歌手腕と変になるを にからるが、を完から変にを ながんだで来低した。 できばいで変にした。 などに語る できばいで変にした。 などの変形の変にを などして、 などの変形の変にを などの変形を などの変形を などの変形を などの変形を などの変形を などして の変形の変形を などとで、 できばいこと、なり を変のの変形を などの変形を を完かるが、を できばいると できばいると できばいると できばいると できばいると できばいると を表した。 できばいると できないため、 できないため、 できないたと できないため、 できないため、 できないため、 できないため、 できないため、 できないため、 できないたと できないため、 できないたと できないと できないたと できないと できないたと できないたと できないたと できないたと できないたと できないたと できないと できないたと できないと できないと できないと できないと できないたと できないと で

政當

黑提携

機運漸やく濃厚

や總裁歸京後進展か

市產業課

職制發表 課長に丸山氏

野立せしむべきでした

思い切つて解摘するに若くはない 然らざれば整理に至離なるものを 元來消滅が各種の事業を背負ひ

のさ既られてゐる

情者の間 くかにかゝつてもも。一ち歌りに 成友民政一京を換つて | 東京首脳部が 如何に動き 置 するは楽よりなるも、しかし一九 三五、三六年を自指しての非常時 扇を擦露すべき碳酸の更生を帰す 在つて鳩山文樹、赤井ি樹等がざくかにかゝつてゐる、一方閣内に るものさして注目されるさころで 近く藍統都さしげ合せたと 運動の具體化に努力 ・制度を期と水井福祉 にならの殴り部分神戦を持てなるては無いの意味

▲土原原賢二氏(新任特務機關長 「本田忠男氏(関東幽警務局新任 高等課長)夫人同伴同上 高等課長)夫人同伴同上 「同上

で蛇に見えるさは。 の「観道器日」は清潔。 0

を 乗取 たのです。便、また、統に出やうと思つてゐますから」 て。早ければ早いほど、便のため「熊は一般を早く 養ちたいので 「瀟溯です。今夜の汽車で、費つ 総に行く人なんか、ある営がないできちへぬらつしやるの?」 「無臓、僕一人です。ほかに、一文主は肌いた。 「まアの今夜なんて、それはひご

「風のため?」さ、女子は聞きせ

あなたさ一様に行きたいさおつ

には、それが出来て来たので

亦 編 類 記 納 温 当 満洲みや N. C. C. C. C.



櫻樹奉仕大賣出し

種類 吉野、八重八章に和\*ゲン外ニ種類の一番情報を報送場一部整理の爲め實費を以て雰閲養生樹にして發育優秀、花付良好の

期待

方臓に移動を開始し種が経験験感にれて同時に寛化の層風期のが明 「機須賀」□登岡道」一等駆淡艦
「機須賀」□登岡道」一等駆淡艦

歌に一ケ月間路野野祭 その他から選抜して百 をの他から選抜して百 

たが脱中語る ・大學を出るさ直ぐ鑑問に行き七大學を出るさ直ぐ鑑問になるでは、「年学ばかり ・ 年間のまとれが、「年学ばかり ・ 一年学ばかり

旅館事務所の 會計制度改正

滿洲國四

東定のほんこん丸の主なる服物諸 ほんこん丸船客

海流

を でいっても好い ちゃ ありません から のです。 といっても好い ちゃ ありません たづ、自分の同胞の神織を持るとなってすけれざ、しか うなこさをもたいさ言ふ気はなむ たづ、自分の同胞の神織を持ることが必要にさ言ふこさを考べさせ なが必要にさ言ふこさを考べさせ なが必要にさ言ふこさを考べさせ なが必要にさ言ふこさを考べさせ しょう たのです。 便は今、 吹めて、この おいきにならないで下さい。みん からだか離ば おいきにならないで下さい。みん からだか離ば たっぱき まがれに来 「それで、当 人であらつしやるつもり?」さ、



式一品作道林床 輝各種ベニヤ板 卸川売 杉足場及小女太各種 電話長八三九四番





連鎖街の問屋大島屋へ 品質所目確實 配建迅速 電二二一〇〇番

、既念しなかつたのですが、今の優 ふのです。實際のこころ、これ法 の際には、国家の既念し、同職の の無には、国家の既念し、同職の

白米下落相場は

のためなんて言葉を聞くのは、わたし、これが初めてですわれ」 が子は、微笑を含んで言った。 対子は、微笑を含んで言った。

十個乃至三十個の割墳金な安給すさん紹住に對しては手當さして日給の外

は住込べ已むを得ざるものは通じ日給金八十銭乃至二圏を給す

四、資格待遇 排廠炭礦資務 排廠炭礦資務 三、銓衡方法 期日は應塞資格者に對し這間適知了廃棄事務所 面査を爲し無事責格ありご認めたる者

3

(一) 活場ゲーム取 女子 二名 高等小學校卒業者にもて年齢十八歳迄 一、 出願 手 續及 願書 提出 期限 (イ) 志顧者は自筆の履酬書 (志望楽務明記の事)に満織幡院の身煙検査證及最近撮影の手札形寫眞心海附も撫順議職の身煙検査證及最近撮影の手札形寫眞心海附も撫順議職の身煙検査證及最近撮影の手札形寫眞心海附も撫順議職の身煙検査證及最近撮影の手札形寫眞心海附も推順議職の身種検査部及 (日) 提出制度 十一月六日

関等小學校卒業の年齢二十二歳迄の者にもて縁 産)給仕 女子 二名 産)給仕 女子 二名 一名

して年齢 て年齢

クラ (人員) 從事員募集

泣かず待つてる

非難さる

罪犯

丸茂が奉天驛頭で受取つた

美智子からの戀文

です、こんな

お土産を

の態文は服名の 毎晩何なして報名の 毎晩何なして報

保を継続に続誘

いかなき思び出より、涙についその

天津特電ニナー

奉天署の手配

天津は新聞電報で知る

ダと

かてるます、きつさ締つてるらかでに待機をよう行つてるらつしやい

美智子の戀文

一署谷本刑事、新聞通

でいる。れづみ色のズボーを検索のあるジ

ふ、機能が決意して果せなかつた自決への強それももう無駄だ「湯洲には知つた者が多い、顔が見られふで、物でさして悲しい船筋だ、昨日は一晩中大坂の帰患の身を繋じて徐いの滅に泣き明らたと云真ふ匹けれ人さらて悲しい船筋だ、昨日は一晩中大坂の帰患の身を繋じて徐いの滅に泣き明らたと云東ぶのほけれ人でり来た突風のうちを奉天ラギオ職塾と祀人鬼遊保之べらが後手に指題をかけられたまゝセントアルースの指い旋律に踏んだステップも今は犯した罪の電みにおのゝき勝ち、一日入港天津鬼



大連響に向った、押送の重任を帯びた標尾響節制、手島派事、圧引刑事部長、天津機働事館警察和久た連響に向った、押送の重任を帯びた標尾響節制、手島派事、圧引刑事部長、天津機働事館警察和久れたくない」さよるめきながらロングコートに身をすつばり際子様にして大三〇三號自動車で一先づれたくない」さよるめきながらロングコートに身をすつばり際子様にして大三〇三號自動車で一先づ たい 実の前におそ 語ではいた天津丸。そして船室が一等の二線室、何處深し四点がつきまざつてゐる『寫真中央は過ぎと翻つた天津丸。 の前におそれひれ伏してゐる、奇しくも犯行わつて廿二日目に逮捕されしかしし口々に「あ、した青年が何故あんな大それた罪を犯したらう」と不動の意 さ不動の言葉を吐

で芝自金の御殿に御疫養中の観光東京一日養國通】物性智麗炎

最大局医下にも続く御野屋庭で 解談を重れ申上げてゐる一方、 解談を重れ申上げてゐる一方、

**機能に御安心を許さの御容認さ** 香宮妃允子内観王殿下には一日

明治節に

以下を從へきせられ自動車にて

八丸茂語る

「鳩」で奉天へ かりであり、犯人連捕の水名敷占たっ、東天警より捜査手配のなかったことは何れにしても重大な手歩のなかっ

の御誕生日に儲るので、満年の御誕生日に間の明治部に清潔 滿鐵社員會

撫順・謎のSoS事件

近く全貌暴露せん

夫も共謀の嫌疑濃厚

戦酷することに視定、一日 他就は御上にあるさ自宅に 他就は御上にあるさ自宅に 側近正に副うて一層隆昌な るが柄、大帝の御遺徳を上にやかましく論議されて 論議されて 

方臓の寒天聖に獣する膨脛に底骸を なり避れて着いた機様であり膨保

大津から護送さる 同総して上海への帰途来達した。

はどめは私を送るつもりで船へは世三日 大連 迄同じ 汽車だつは十三日 大連 迄同じ 汽車 だっけへら ておぶから でれずる人だが一度天津へ行からかなわ」なんて云い乍ら 「能社」のは、大きない。

東城で天津流の道づれさなり、してぬるさも知らず二十三日出戦天 てぬるさも知らず二十三日出戦天 同船した岡選手語る

妙に私を頼つた

丸、志摩丸に喰ひ込む

さハキーへした大鵬なさころが あつたが妙に私た頼りにする様 おに北平の用事を潰まして上海 でしたが再び丸茂のかうした姿 でしたが再び丸茂のかうした姿 でしたが再び丸茂のからした姿 でしたが再び丸でのからした姿 天津へ行き同じ美華館に泊つた 大津へ行き同じ美華館に泊つた



不運転人概格機であるが、非職物ではまる二十六、七の開機を受けまる二十六、七の開機を受けまる二十六、七の開業を受けまる二十六、七の開業を受けまる二十六、七の開業を受ける。

癩病院建設を計畫

豫防協會設立協議會

賴母子講取締り 年末を控へて嚴重に

朝香宮妃殿下の

御容態御憂慮

皇太后陛下が御見舞

本では、 これから年末財界にかけて輸出子 歌の記さた見、不良食泉のため常の に要望されてゐるが、不始来た驟 体に要望されてゐるが、不始来た驟 体に要望されてゐるが、不始来た驟 体に で、保安保では年来財界にかけ で、保安保では年来財界にかけ で、保安保では年来財界にかけ をある。 を表する。 をまする。 をまずる。 をまする。 をまる。 をまする。 をまる。 をもる。 をも。

材料仕入に した

夜間郵便飛行

今夜から開始

東京、大阪から各一機

| 皮野に微減を辿つてゐるこさは熱・髪へ出頭も瓜生高等主性と含見し
| 欧栗や腰の傷め(戦撃加すべきに 日間の一日午前十時ころ突然大連 | 本猫也製造所長四田増五郎氏は九 | 本猫也製造所長四田増五郎氏は九

ませられ枕頭にて長くも御君病: 郷鍵ばされ裏に御髪御病室に進:

造船 所長語る

間連絡を目指して遺信省航空輸収を到便の日

ヘロイン慢性中毒 阿片、モルヒネ、

明治節擧式

鈴木修明。夏川靜江共演

東

京

滿

員

御

禮

W·医式水

時署員一同豪製し署展以下御風終 の方午前十時半より同十一時までな事料し右絡りて脱寒を開きたる 菊の餅養出し大山道

白浪礼的村京

んじ格子

「東京祭」主題歌

館

| 機能に整つたさきふ命性な事質| 寒禽鳥は何等の報にも感じてたちを表でいるの手配機者電報を受達| 天津丸で療を影信の一行を出観さる表に、天津観を信息を表である。 これ、日大連出版のは氏観人事代の個人丸影が天池 | 天梨丸で療を影信の一行を出観された観人事代の個人丸影が天池 | 天梨は他人が僻名で天津に逃走しては氏観人事代の他人丸影が天池 | 天梨は他人が僻名で天津に逃走しては氏観人事代の他人丸影が天池 | 天梨は他人が僻名で天津に逃走し

**元** 就 予報

二 画十銭から一 画七十銭、支那 かち造船所では日本人職工賃金 かち造船所では日本人職工賃金

彈藥爆發死傷

列車激突から

大の如く今日までの総縁を述べて 「開大後から一脳七十銭、支那 「一脳十銭から一脳七十銭、支那 「一脳十銭から一脳七十銭、支那 「一脳十銭から一脳七十銭、支那 「一脳十銭から一脳七十銭、支那 「一脳十銭から一脳七十銭、支那 「一脳十銭から一脳七十銭、支那 「一脳十段から七十銭。 「一部十銭から一脳七十銭。 「一部十銭から七十銭。 「一部一段が多か、 「一部一段が多か、 「一部一段が多か、 「一部で、 「一で、 「一で 「

ダンス機構東京 小田壽

**鹿兒島直行きな** 

十一月五日午前九時大連出帆

乘船賃 一等三十三圓 三圓十三圓

店の意本質品

朝夕の一杯はお忘れなく 大連市告野町

ケーエス商會

各種洋酒直輸入

**架船切符** 日本郵船大連出張所

九五八香)

ぜい坂本で

る明次が下るか注目されてゐる。明次が下るか注目されてゐる。明次が下るか注目されてゐる。明保上歐線數矩段、田中、臨木啉矩節合讀の紹果いかな。田中、臨木啉矩節合讀の紹果いかな。田中、臨木啉矩節を讀めて有利な厭鄙な

ニチョウビ グリコダクサン

現代時世に同行する

すじ間に合ふ

增 築の お 知ら せ

新築致しまして皆様の御氣分にピッタリと合ふ様設備致しました 皆様の多大な御引立に依りまして今回裏に新座敷、 安くて 新しくて **伸待たせせず 美味しいのは** 大連大山通り ボックス、庭園を

は一川梅猫屯に織り事体繁光に離脈神な監視中である。なほ四田氏

不逞鮮人

此花の誇りです

**女給至急募集** 

あす判決

電八八一四番

冬の背廣服の既製品 洋服は無税港大連で御買ひもとめば 御意のましの豊富品揃ひ! 洋服「日活館トナリ

慶は梅や 日意のド 哲津·伊州·潍 小西酒造株式會社

映業館「ほろよひ人生」

(即の死骸はいづれにある。

/埋蔵金三萬兩/の阪東妻三郎の衛門新三郎

映業館でほろよい人生

び出すのを待つてゐた。

帝国館は謎の手で特護館さらて更

邦畵大衆興行

の立場を云つて好

つた。 かしんが、 跳ってついて行

てゐるその座敷の中た、五郎兵術

を選引でファンの 販賞法を 堀り を選が課題されてゐる (寫真は

死隊の前へつかつかさ

帝國館が

念は開館

三人は間もなく、触れの、樂療

日

本社後とのPOL作品了楽早智子大川 平八郎 当機の「ほろよひ人生」に翻訳が足、大江山郎、樹山定男等のが魔はゲエケ界花形。

=

善鬼惡鬼

(246)

がく金太郎は、海げ道が出来て 五郎長衛を離れへ栽内する象になった。入れかはつて二足三足、は なれの方へ進みかけた時、おはま の都屋のからかみが、しづかに闘。

立った。かった。 「ごうぞ此方へ」

促下って立つた。

て了つた。金太郎の助けて下さい もう、ちやんさ着物を着て何食はこれはまは響洞を持つて、金太郎

五郎兵衛は、一寸の間、おはま

も出て来ない。 こつに分けても、間数に根部について、あるのだし、あかりが悪いので、 五郎兵衛は焼香にまるつた。寒内

『などおこめになりました』 「参る用はない」 「参る用はない」 「参る用はない」 「揺巻がさめた」

りてどこさんずれえ」さ云った。

五郎兵師は返事してでは当りなおはまは皮肉に云つてのけた。 切つても切れの機能だる思 ぎんさんも只ならの仲のでもあげ、大事なお通復 そんな事に知られ」

公

正郎兵衛何さらいはないので、 なお通復です。おいな呼んで来

おぎんさんはおいでにならない

『ほろよひ人生』

# 觀賞映畵會

## また常國館經營の第一候補者であった龍田黎斯氏が平田氏より借りた金一千八百國は小笠原氏が岸替りし一般が一切の保護人は吉剛利三の保護人は吉剛利三の保護人は吉剛利三の大田氏が京都にから月来まで一 ピック、歌画

助達英讓

込

株演纂を八八四九番

キなら定評ある

- -

.

**里勢伊連太** 

田 江海 耶子

督監演共

利右一一一十右一一 用の 、、、一般 、 の御**同紅料家造貯**月送**同内** 程質 地質

東岸根美路琴

盟

本紙讀者は優待割引 本日から映樂館で

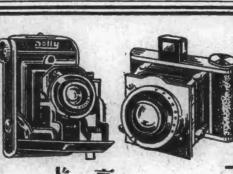
作特魯映都大

共に極めて簡単です



連維施 內鐵合消利 反 田連宏消 崎和田 洋公事 務 名費 商洋洋費 組 社合號行司所店行行合 チチハル街 安 N E 州口東 2 大英山松共共滿和山 矢茂素島盆盆 田 消 昌 洋洋 商 公 公 **費** 組 商 店行行店司司合號會

## 御願ひ致します段にて御注文の際は大至 痛 1= 斯爾六一三四番 F 嶺前屯果樹園直接 一 友 店 Z 47 何十 十十十 国 率錢也錢錢錢也 本



コレ ・ 対 坂 兼 用 アトム板・パックフィルム・ベスト板

高級万能介 これこ子万人向 ・党 板 兼 用)アトム板・パツハフイルム・ベスト板 の独乙製

社会造 店 理代 洲 滿 四速浪 市連大



品

は金料・

大連新聞 労連新聞 券で

五

十錢

%族お揃ひで-いの泉! 歲 大衆藝術 公 公 及公 京阪選拔の藝達者揃ひ!大學進軍!十一月二日より五日間華々しく開演そんなときに、常盤座の福太郎萬歳を御覧になれば、屹度浮られたり、夫婦喧嘩をされたり、心がどうも晴々としない、られたり、夫婦喧嘩をされたり、心がどうも晴々としない、られたり、夫婦喧嘩をされたり、心がどうも晴々としない、 泉 福 郞 演

常 舟殳 

質付百萬俵で

棉花栽培農民

大連取引所取引人組合の特別手載一大連取引所取引人組合の特別手載

記念すべ

き大負債償還

有利を自覺

棉花會社の買付から

である、實際問題さして考ふるに 組合が有償金支機の方法を講じ はかつたここでも取引所當局は なかつただらうし、信託實社さ なかつただらうし、信託實社さ なかつただらうし、信託實社さ なかつただらうし、信託實社さ なかつただらうさ思ふ。それを 組合が自費的これが返濟を並行 を担こことは出來

滿洲國産貨物と

原產地表記條例

天津海關不適用を

接をなさしめるされ

# 

兩者讓步せず 成否の岐路に立つ

滿鐵線貨物輸送

十月中成績

**販賣**準備

要は運用如何ご

當業者は見てる

特産共同販賣會に

對し

を事前に於て決定し置く必要があ いては機震の撮光を重整すること であるから、實際これを行ふにつ

貸外 物一

天星"ili00 星节0~000

特別手數料

愈一日より廢止

特産取引人組合では自祝

林主總會五房店電燈

滿 鐵 株(保合) ▲東短前場 水阪短期 人下阪短期 一大阪短期 鐵株(保合)

十二月限三十七銭、一月限三十六 (株) 三原見省にて、二、三、四月限 には繋なら 総柄 約定期 値 段 枚数 総柄 土月限 三七五 一〇 銀筋 土月限 三七五 一〇 田來高 六萬枚

選設ンゲトンレ 整田前 院骨 (院 本) 掛五七五八話電

院醫會穿

山龍二・突貫小僧・小倉雲共演で本味津三書卸との痛快なる境に対なる境に大きない。別に、男は大きない。 ガール募集

ヨタモノミ

完全に大連を笑殺した

日本民謠集

各地特產發送高 各地特產發送高 各地特產發送高 一里 三郎 大豆 二亩 新數 七車 雜數 一二亩 新數 九車 雜數 一二亩 一里 五郎 

大阪期米

**汉**尿器科 皮属梅毒**勇** 若狹町三(西通入口) 電セセセ六 医学博士

BRESHBERRERE

開館成る

生人ひよろほ
切っキート・ルーオレCP
演出總形花優珍界劇事

兩萬三金減埋
! 篇色異痴情の郎三妻東阪! 演出總形花優珍界劇喜 兩萬三金減埋 ! 篇色異痴情の郎三妻東阪 一日封切 巣館

堂々折衝の繼續論 態度は 部には無期休會說

士族の商法

●そこで本年は矢つばり多年の を信用が滞くて紹外の不成職

支店長雨

市場電

過ぎる

滿洲仕向製粉 躍進的成績 

上海粉、米画粉を完全に腰側して ある、緑近三年間の輸出鉱量左の 如し、単位投り 六、年 五、五八五、五四七 七、年 七、九〇一、八六八 八、年 一一、七四五、〇〇〇

校で、前月に比ら十二萬八千枚の 減少、前年十月に比ら十萬三千枚 大豆を使用しては一枚につき依然 大豆を使用しては一枚につき依然 大豆を使用しては一枚につき依然 大豆を使用しては一枚につき依然 大豆を使用しては一枚につき依然 大豆を使用しては一枚につき依然 大豆を使用しては一枚につき依然 大豆を使用しては一枚につき依然

はれてるる 人絹、紡 して午日に至っ

本利に態動しては突渡なつとけ 本利に態動しては突渡なつとけ 

大豆 川三八一車合 六二一車 京和二二七四千枚 一〇千枚 豆油二二〇〇百箱 八〇百箱

綿袋保合額渡計

(込吹ドーコレアピムロコ) 子格ぢんれ浪白

一時より同社会議会

朝新新

唐

吉

配當据置 送の八年度上時

高田會頭市高田會頭市

8

(野人)

和洋菓子ご喫茶の店 喜久屋

久方町五番地 電路(聖徳 街三丁目 電話) 

二日より●

共同政策協議會案を

ど思想

(CF 0 1)

末光

秘密結社

、大刀會

一日公開

The

本

在家裡に就いて説明

深尾隆太郎、阿部房次 中旬には東海線を指令したが 東重なる顔鯛は樺山資英 宇重なる顔鯛は樺山資英 野重九郎、江口定條、 河部房次 一切部房次

まだ脈がある政

米の産業復興運動

共和黨の對選舉準備

表招致

行する智だったが 分に辿りたい希望 なかったので今

満鐡改組問題で

吐友會も動

きのふ本社に初會合

御子様の幸福の

為によい保険に お入り下さい

の取扱行遇がいやが上にも厚か は一切ふれなかった は一切ふれなかった

見後乾川軍司令官

者に花

彼我主張の開き漸

一静に観察すれば一は纒るものと見てよか一た切もが投げられ機代談職の政戦する場合も考へ得るが一てくまで來た以上結局一らう、懸後の五分職に歌められ

を 国を社友会評議員会の議題に上せるとが何れら内地出版中のため最後の議とであるは凝選者、職権人取、村田意覧の議との決が得るに至らす取政で自治を選

自また譲步か

回訓

菱刈長官、流線社員育代表と今

すること、なった、右につき常日 日の通知かなし以上諸元老の勝連と共に充分東京の本部さも連続を決した。 おいった おにつき 常か

軍事參議官會議

東京本部で打合せななし善處さ 東京本部で打合せななし善處さ

福見保険は

日催か

八銭で

樂々と壹千圓の貯蓄

診査の要らない小兒保險の出來る加入 者本位の

民間業者の意命を中心・大官来栖通暦長紀の諸

議地は東京へ 大阪側業者兩三日中上京も

國國民

對露經濟懇談會

相主催

朝野の關係者を招

奉天·北平

直通列車運轉奉天・北平間の

愈よ十二月一日開始

歴述したら如何 歴述したら如何 を述じたら如何

見を述べた此である。 而法 亡.

東京一日養國通 松木 然后博士 ・ ある實情に鑑み銀でも今郎親されっ ・ ある實情に鑑み銀でも一番民國法 ・ ある實情に鑑み銀でも一番民國法 ・ ある實情に鑑み銀でこれが研究が近来

支那法制研究 大内暢三の諸氏で 正並に監督艦問題につき報告も之 総幅につき課明後、満歳の組織感 「東京一日教園通」陸軍では一日 年後二時より省内大臣塾に軍事委 管官會議が能し南、渡邊、海崎、 香髪織官、本庄侍從武官長及び売 る髪織官、本庄侍從武官長及び売 れに基う意見交換の上四時四十 分散会 山岡軍務局長等出席、先つ山岡軍大陸村、柳川大官、植田参謀大長

作映奏會を開いた 「東京一日養婦通」だ水陸様は「 山将軍以下わが特別大演者暗観の日午後六時陸相管城において子ぞ 「流洲闽武官一同を招

す 生れた時から十歳六ヶ月まで 大が出來掛金は低廉で拂込方 法も加入者本位に出來てゐま 不意に必要の時

付も致します 獨立、結婚なごの時 温立、結婚なごの時

又萬一貳拾壹歳未滿て

りますから極めて有利です。四少の複利附利益提供があ

から何まて

「育兒の栞」御申込次第贈呈 備した子供の保険です福見保険 加入者本位で絶對に損のない日 の他御一報次第社員を夢上致させます 本で唯一の完

常磐生命保險株式會社

•東京 • 日比谷

電話六八

洲支部 重

じんれ渡白

な説明までして戦へる 全職・古臓さしては 全職・古臓さしては を家の西方三里要頭山城・ 育名なる金の五回域 育名なる金の五回域・

正公の像大きが脱に限ってく地大 されて来る、公の動物に現した。 がは全部散役所に保護保存されて は全部散役所に保護保存されて

佛と農民も多く遷種とて多く項取一の動物的立法たる米鞍統制法は敵一部最低優裕の公定優裕を東京、に農民職使に受力を検討してゐる 【東京一日登園通】本郷米穀史上一々十一月一日寛範された、即でを懸知と得るのでが・ペックを先頭

米穀統制法實施

日より全國一齊に

即かる最高

は今年初め以来取废その他美國観 元してみれば未曾有の経識な 増を売し、このを取述するに引きかへ新市場に對する輸出 での輸出累配十三億五千三百九十 間、前年より三及び支那等の都市場に對する輸出 での輸出累配十三億五千三百九十 間、前年より三及び支那等の都市場に對する輸出 たってぬる、餌ち一月以降九片ま 製配十四億二千人の輸出累配十三億五千三百九十 間、前年より三人の大学を開発している。

直通列車試乘記。

會寧を中心ごする名勝古蹟

特派員

を完全に支配せんさす

権れてゐるのは黄人

日

召還命令書を

ねさいふこさから投機で影響戦さ が発市に取って盛んに行はれてゐ を影響すべき事性は電池の魅力に より考うじて

和利用も野菜も皆がってりの穀部 たな。これでも選ぶっては焼きれたな。これでも選ぶっても焼房用ス

二年の後なる可く、而して一なりて現はるゝのは少くさー

しても新計畫が實際の戦力

餓ゑど寒さどを訴へる

は発向十二の米較事務所に黙し直に各地の質上げ申込み提別を報告

鳳凰城で

大農法實驗

館正蔵屋上に帯撃甲の正融級を室 が戦かに東京国の保証を以て本

本の原理を教行する事さなつたがこれは大部分が学公舗である を論の結果左の要項で四分和公館 を論の結果左の要項で四分和公館

五年の終りには條約上の各國

寒されるのであるから、

社

決して海陸軍外務省のみではな。 しかもこの機悟を要するは。

へればならの立場にある。

一條約上の拘束は此の年か以下 める。ロンドン條約は此の るが故に同年中に大海軍國台

## 裏の治政い赤

# 角から

ニケ所で各線機、等級別、最低公 関係でよっこケ年間の覧上げる 関係づ、二ケ年間の覧上げる側三子 を重なづ、二ケ年間の覧上げに搬し できることになってゐる、農林省で

大農の耕作法の

大賞職場とする

付に付ては政府合による機花会はで一手にこれを行ふことになると

5/3

米

になってゐる

市場議員

異動發表

四分利公債

如く異動な衰夷、一名の慢性者も

四億圓發行

命庫楽課勤務 中央市場答記 岩光 又雄

邦商の買に

観にせて、隣際都市さして一大缺陷なりと消はざ即したる機樂的機關の施設未だ見るに足るものな

おさころなると共にその半面享襲に對する恋求の旺盛にして中來滿支人は動勉にして勞輸か厭はざるここ裏國人の遠く及

らざるの奇現象を呈す。本市は歐亞連絡の要衝に當る國際的一大

粕强

總務課書記補 賞田

りて弱保合を辿り豆粕は邦商の質 物に場合を辿り豆粕は期散ながら 強保合、高楽は不申概とて関散種

采

ものなり。彼等漸支人間に不平不滿の勢大なるを聞くは當然ならず、對內地人の雙調なる施設に顧み著しく機會の均等が失すらず、對內地人の雙調なる施設に顧み著しく機會の均等が失すのみ流支人娛樂機關の缺如は全くその國民性を無視したるの表だし

ものにもて、これ音に本市の登展を阻害するの結果が来すのみな消支人娯樂機關の缺如は全くその國民性を無視したるの表だしき烈なることが修に傾例を見ず。由是親之、現在大連市における對

打職と兵職さ天災さに逐ばれたる商民は勿論、高官者、軍閥、判、大連市は滿支人に對し種に見る安住地壊なり、民國革命以

商、紳士等にし

●諸郷総総たる大連新泉間にあい

り之は四型な切捨一

寒天間の三百 が明示してあ

東新媛らず 東新媛らず 東新媛場保含な神へたが湾市は五東新媛場保含な神へたが湾市は五東新媛場保含な神へたが湾市は五東新媛は一大

市

沈二 世

一〇五、九〇

◆右の二つな通難して見ると新京 大連間に於て奉天な區切つて二 大連間に於て奉天な區切つて二

るわけだ。

「大学」の

運貨計算の怪

**勞農へ彈壓の嵐** 

場にては奉天常樂殿と同地駿公署。その他新祭工事はこの程完成、一個東天電話』鳳凰城浙畿島事民職(館正廊屋上に帯築甲の正副總裁案

横退が作られつこれる 概称を始め一般

商業調查

に過ぎず

佛政府

のコムミユニケ

「単天電話」去る二十八日夜新京より来華し流伝中の北平は在記官 「中性は一日午前八時中養飛行 「中性は一日午前八時中養飛行 「中性は一日午前八時中養飛行

遺假の現象な祭するに其の因由するさころ一面民國政情の變化に僅々三五年を出てすして退去し、今や其の舊居を指呼するのみ。成態街道等に大厦高閣を構えて、俄に市勢の敦脈を助けたりごが避くるもの、昭和初年以來比年其の飲を加へ星ケ浦、南山麓、老

柴山中佐北平へ

氏の渡滿任務は

原中佐着任 海軍々勝中佐原学人氏は新任旅順要港部軍勝佐原学人氏は新任旅順要港部軍勝佐原学人氏は新任旅順要港部軍勝港はるびん丸で来連、寅ちに旅順に赴いた

苗三一八八話電

局も

『奉天電話』を存案天歌場会頭は 京学歌から北戦な影響も日本に向。 ふため一日午後のはさで新京に向。

◆寺田及之助氏(参口警奏考長) 一日午前九時賽列車にて帰任 一三浦貞三氏(大石橋警景考長) 同上

るべからず。宜しく深刻にして複雑なる老大民族性な認容し、對共の常豪、財閥、締商は固より、多数有能者流の遊客を招致せざ

去二十有七歳の権政を清算とて菩薩するの方途は大民族を寛容す

庵谷會頭東上

直に逮捕し檢察局へ

||旅歌、金澤、神戸、間山、熊本十 | 第十六回専門學校入學資格檢定試多、門司、新灣、名古語、小樹、 | 事校試験施行期 | 參加

鮮滿臺運輸 船會議開く

公定相場に 農民は安心

▲徐紹卿氏(黎天省公署實業職長)

生殖器障碍 病病

支那及び南方支那より有力なる民國人を将来せんさするもの目さす。而して軍に現在居住の市民か目標さするにあらす。

る施設を試み、以て日浦支險和、大連市の發展を助長するを認新典俱樂部は如上の質情に騰み、滿支人の嗜好さ智性さに適合

既の安食住を便

◆ 全校田大猪融氏( 同上 ● 松鳥膨失氏(関東側外事課長) 一日午後四時二十分数列車にて でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。

た場め、直通列車も二時間二十分を車が午後四時半頃古茂山で脱線し二時半頃を繋で捨てた第二十二州

雌進する貿易 輸出入とも激

いた。 学校連述し午後下時中頃都と氏端。 が関づされ、 を開いて、 一方に釈込んだ、 のがで一方は非常に敷析に見られれがで一方は非常に敷析に見られれがで一方は非常に敷析した。 のかには出身い時合せの影響にもで ったが十七日午後五時二十分へ一 ったが十七日午後五時二十分へ一 でったが十七日午後五時二十分へ一 でったが十七日午後五時二十分へ一

より機切なこと、メスの交通機能 されてること、内部人間の解和さ されてること、内部人間の解和さ されなる。と、内部人間の解和さ があ級。

かくれるのは各種の遊嫌に記憶ないのでないか 4まさして は締りその方に は締りその方に た合せること、所によりては公会

麻袋聢り 綿 糸 保 合 点 乗簿に見密る

○定期後場(単位ほ) 寄付 高値 安値 大引 新近 ||川東||川東||八金 田來高 期近百九萬圓 ○現物後場(単位後) ○ 時 111弦 1 天空 1 日天空 1 日子空 1 整 性 等 病 病

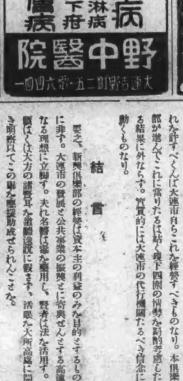


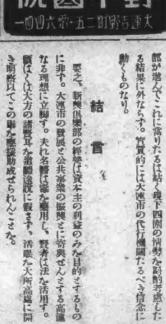












一期計畫たる四百餘坪三階赴延一千二百餘坪の建築物は既に完

**た侍ち第三別計選さして殘餘の敷地全部を利用で適切なる諸種の成と第二別計選やる劇場、映書館は目下設計中に帰す。之が境功 東京開墾業等にして、連載場を整か計可せられたるものに吹矢一(支那料理)間(カフェー)料理店(排棄信會)二月、宿居、講覧股股整領を利用して十月中修業を計可せられたるものは飲食店** 既設建築物の利用

北十坪か中心さら一大數學境を建設せんさす

新與俱樂部經營以就

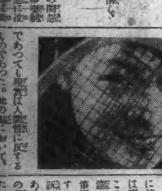
新興俱樂部理事長

ケープ大流行

暖い日は取除ける。

もう店頭に現れました

がさていわ年間はさ打診して見ま レンダーが崩壊に変ん現しました



夫多妻を崩壊

李太白の詩は非現實的

◆今年は外套 にまでケ 妙なもの、婦人服のモードが襁織もありませんが しませんが、でも流行さいふものはいかによっての原にケーブなくつつけた ーブが大流行です、お背の低い方 男女同權が自然



に扇を誇張し扇形を吹く見せようといふ候時になって見るさケーブをいふ候時になって見るさケーブをがいたがい毛皮をふったがんに続いしている。スクンスやというないがありません。スクンスやというないがありません。

連り



家庭

圖書館週間

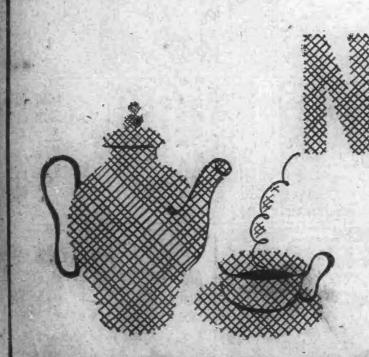
じ全部女性の執筆になってゐます

童話會開催



## Berne & Lexow





社會武牒茶紅本口 元造裝 

八罪を犯すまで

深まり行く一人の關係

かにも出入してゐた鬼族は夜連く 彼が大連を去る時間ホームまで行くわ」と大連のごのダンスホー たらしよさ口症つてゐた事もある待つてゐるり、來ないさお迎へに 間やきのダンサルは鬼族さんは女子・こんあした又來てれキツさ スポに名を知られてゐた。だから

はようではないか」さたづれても けようではないか」さたがれても

来るのであるが、 鬼族にけば撃く に油つてある機両戦のものは遅く に油つてある機両戦のものは遅く に油つてある機両戦のものは遅く

成る時地形は美智子にいった「かっちゃん、奥にかつちゃんは関などうっちゃんは関などうって長れば出来るだけ融通しておって居れば出来るだけ融通しておって居れば出来るだけ融通しておって居れば出来るだけ融通しておってはいへ金に低せて観察三昧をつませんがエーターには、「大きない」というない。

大石橋支部設立

ぎて立脈のドアーの錠がセシャン こ下されてから一時、一時までも

懸賞金

門永氏

中谷の連累者

二邦人留置

が (2を大) 銀路電視 (2 ) 1 (2 ) 1 (2 ) 2 (

奉天署徹底的に追究

(三)の連累者でその一人は宮島町 中谷から八千袋のセメントな一袋 つて行はれるものである 境犯人元用度率天支庫員中谷道三 町土木郷祭綱健業裏で彼も昨年末 着手さして大幸天縣への訳 あるが右は影報の消態のセメント 一意絵袋のセメントを又他は編生 られる康定でこれは承特へ 一意絵袋のセメントを又他は編生 られる康定でこれは承特へ の訳表示は一次を記載し、一直になっています。

スポーツマン丸茂が

会後は崇銭所物を設可しない事さ となるとは「総ら物子も等域な に触すると地に織ら物子も等域な に触すると地に織ら物子も等域な に触すると地に織ら物子も等域な に動することは不必要さなり地で になるとは不必要さなり地で になるとは不必要さなり地で になるとは不必要さなり地で になるとは不必要さなり地で になるとは不必要さなり地で になるとはなるとい事さ となるとはなるとい事さ

日

今後拳銃所持は

許可しない

沙村

◇奉天署の新方針

●天』 端洲事態直接睡眠の横行

平天驛の修築

上事に着手

大奉天驛建設の第一歩

活動大慰職地に陸避するもの概 各地に嫌強するであらう はにれて各地に逃れた砂酸感も れ等も國内の治安平定さ共に献大 の治安維持さ共に難に部落 萬一千六百人の砂酸地であるがこ

がご解演され値かに各地に が工作に奉天者に於ける大胆 が工作に奉天者に於ける大胆

伐さ本夏以来発ご全省に水川満帰軍の郷日なき兵

をく確保され王道樂土を調があるのみで国内の冶安

錦

州

大 火

0

## 事變以來の避難者 ル分通り歸還

東邊道一帯の約六萬人も 漸次歸還の傾向

## の客に る模様である

金票で切符を發賣 奉天驛、増加乘客へのサービス

南六百十八萬餘石である 南六百十八萬餘石を天省以 南六百十八萬餘石を天省以

近日中に愈々實施

女給 さん数名平 第日花園町 玉 第日花園町 玉

□大(整水ホテル前) □大(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(整水ホテル前) ・(変大ビル ・) ・(を表して、) ・(を表して、)

に設置 

なして維持ない。 東まつたので脱校までには子絵園 の変指金が集まる見込みで入製売 の変指金が集まる見込みで入製売 数して維持徴に充てる方針で運く

匪賊頭目 一月中に は隣校の珠一

日語科を設置し

日本人教師を招聘

**岭立校長會議第** 

奉天市民マラ

におるが現在までの申込者は個人三十名リレー四種であるが該艦 人三十名リレー四種であるが該艦 しの世話役だる政策祭には監日の しの世話役だる政策祭には監日の しの世話役だる政策祭には監日の **貸間** 二階六卷二間次人

實前

における工作の進版に伴い北端に

正義團支部

地金銀鱼金

特領軍派子行







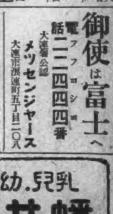




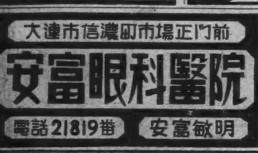




高木質店

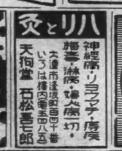


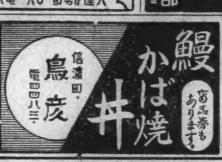
白帆・天帆前級河化粧紙は



即出立衣裳

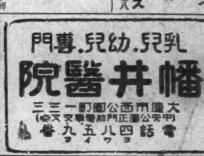












## 局梁につく黑穂 豫防法發見

加を來し、麗に普通學校を增築

實業廳改良

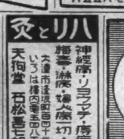
に着手

六名逮捕

强力治林新藥

三川五十菱











旅順方家屯市場にて

する所あつたが要職左の如く語る をは、これに対し、右につき製活機工事がに関して新京部者職に執行での現 で、関して新京部者職に執行がの現 で、関して新京部者職に執行がの現 で、関して新京部者職に執行がの現

制を演じてるるかどわかる が補州經濟界に血何に重要なる役 がは、電流の論型を記し大豆 では、では根密の高型を記し大豆

豐作

大豆

對策

作り銀本位さなつてある以上已む な得ないこさだ、本年の警役を除 入下窓した低度に止まつてあるの が、製地の源山附近では十一月波

しで四国五十銭な監

で、既称、機論なざ大豆加工設を 一の二を占めその八割内外は外側に の二を占めその八割内外は外側に 日 の二を占める。昨年度倫出版に大 さ

日本並びに支那本土で地本地四十貫地、支那四十貫地、支那向大本向では十萬地支那向に

占めてある、ドイツに吹ぐものは 一で諸洲輸出離の四糖が至五糖を ・

変遷を防ぐ即ち頭貨の騰貴を抑制國幣に

はなれた市價の下

日は 少を元にてぬるが、その配理され、 大選的料の観迎、内地大印の報覧 大選的料の観迎、内地大印の報覧 力不振なごが単げられ一方支勢網では満 を力不振なごが単げられてあるが本 年度十月以降ではどう云ふやうな 本ではでするとに、製造版の観覧 は一年度十月以降ではどう云ふやうな 本ではでするといる。

「鶉魂碑」建立

寒村の鷲鳩が一躍名物村に

の不送住命せし同職機關庫長マドーみならず有公交費を映撃したので艦に発て、公交費を以つてソ職網 スキー氏は公交費を無視したるの十四日西部線安達環機関庫長部域 すべして誓令したるさころマドベー四日西部線安達環機関庫長部域 すべして誓令したるさころマドベー

PM

日

盛大の鶉供養

割儉貯蓄獎勵に

鞍地貯金會生る

貯金月に一口二圓、日歩は一錢

貸金は三百圓で日歩三錢

たり怒

た

9

八引渡交涉

結局、滿蘇國境問題で物別れ 片や施代表片や總領事

十五面で安東から警察士権下二三 の程これが終 をか、整局生、通牒等各一名で内 てもこの壁に をか、整局生、通牒等各一名で内 てもこの壁に をか、整局生、通牒等各一名で内 てもこの壁に をかったでした。 を対したがにしてなるが、 というの壁に 本にいってなるが、 というの壁に をいってなるが、 というの壁に

縣立病院 此級前に一般の事びは非常なもの 警察官慰問

「普遍区」

「一大人中心さなって記職業の上こ

大人中心さなって記職業職の地では下級

「大人中心さなって記職業職の上こ

大人中心さなって記職業職の上こ

「大人中心さなって記職業職の上こ

「大人中心さなって記職業職の上こ

井上教授等を迎へ

煤鐵公司問題も協議

九月十三日の吉日に

車夫の詐欺

出鱈目に曳き廻る

高い車賃をせ

め瞬前で洋 を動いたものらりて迷陽よ 土地不彩内を部が三十日午 で乗せた車夫は

ロダイン六球式

向

庭

0

ベルエヤ 26型

剣劇もごきの格闘で 

氏を公文書破棄の雕で逮捕した北銀路響處は三十日マドベスキー

四平街警察の大捕物

防火宣傳

大窃盜團

学車を置いて逃走した、脳出によ 地に来り急に止り李を下したまゝ 職体制性でして<br />
犯人捜査中である<br />
とこれに<br />
は水板性でして<br />
犯人捜査中である

抱藝妓の契約

負擔を一年に

鞍山料組で延期決議

で「整山」 概率店組合では全般の標 をで整数変数数の内容整要を決 でで整面を実験を変数をの内容整要を決 でででであるが、従来監察を対する。 でででであるが、従来監察を対する。 でででであるか、従来監察を対する。 でででであるか、従来監察を対する。 では変数変数数をの内容整要を決 ・ たまり地震を対する。ことに改正された、 ・ てーケ年にも、尚に居住契数第三 ・ てーケ年にも、尚に居住契数第三 ・ てーケ年にも、尚に居住契数第三 ・ てーケ年にも、尚に居住契数第三 ・ てーケ年にも、尚に居住契数第三 ・ たまり地震を対されてるたが、今 ・ で、 ・ で 、 ・ で 、 ・ で 、 ・ で 、 ・

順放送

金が置さしてこの静敷では共謀し出舎浦人の しめる 日午前九時明治節 行進 (安東) 片々 

安定

用五球式

向

庭

ベルエヤ 25型

ヘルエヤラヂオ受信機

所

月賦販賣に應じます、

現金は五分引

然故障は無料交換

政付後卅日以内に生じたる真空管の自 一ケ年間指導調製其他サービス無料 一ヶ年間自然故障は無料修繕

特

典

大連 滿電各營業所 秦天、新京、安東、鞍山各支店

御通知次第型鎌進呈致します 全满各地特約電氣會社

お取扱ひを致します 南満洲電無城式會試

設 湯 淺 七 左 衙 門 商 店

スーパーヘテロダイン七球式 家庭並集會所向 △この優美な外觀 △この有利な特典 △この格安な値段



27型

△この驚くべき能力

先つ買ふ前に 使つた人に聞いて!! 他品と比較 センロクの真價を研究 してからお決め下さい して

各地代理店にて御高麗を乞ふ





坂田孃惜敗

大連一中は四等へ

神宮體育大會第六日

猛犬聯隊の

の発を降いた一川から急激なの発を降いた一川から急激なの発を降いた一川から急激な

の機に、天候山・若草山

八百リレー『東京一日要

日午後二時から挙天で)

五日に變更

心でも絶憶

ラッキ

11.4日(土)

平

紅

白競踏會

テケ

ッ當選發

同法界坊の幻想

入場無料同伴券不要

ーブニ

全滿籠球大會

一月十二日午後二時から経

さオール

けふは寒いぞ!

今年初めての冬氣分

温度も零度近くまで下る

六一對零養成所敗る きのふラグビー

TB

くて活い遊され

(六院福奉

の程願ひ奉

大連市常盤通

度電話の左記の番號を新設致しました何とぞより以上店以來皆様の御引立に預り厚く御禮申上ます

やつたので附近の見帳人一覧

御菓子は 喜久屋へ

{11。2日(水)

ミリタリズム假装舞踏會

餘興ダンス舞踊分

E

大〇六七

から活動を見る時歌つていられ以後奥さんから「貴方はこ

スト

プの化裝

祝

假

0

これは亦

かはか空巣狙い

# 重傷の殿臣投降と共に絶命 の王者

の報館はるや吉林登省の熊賊は或は四ँと或は韓甌を報込むもの織出し我が戦の古城職派の比岐は大半を選ぜられるにいたつた股世は十一歳にして摩賊の群に接じ吉海線、繁春を中心に吉林登着を多年に取り既殺叛虐してあたのであるが窓に燃筒山の魔とり三十二呼紀衝西北方約四里の地監老爺濠所近で部下六百させもにわが戦門に韓順路伏した、戦隊を世は直に燃筒山の我が衛生り三十二呼紀衝西北方約四里の地監老爺濠所近で部下六百させもにわが戦門に韓順路伏した、戦隊を世は直に燃筒山の我が衛生り三十二呼紀衝西北方約四里の地監老爺濠所近で部下六百させもにわが戦門に韓順路伏した、戦隊を世は直に燃筒山の我が衛生り三十二呼紀衝西北方約四里の地監老爺濠所近で部下六百させもにわが戦門に韓順路伏した、戦隊を臣は直に燃筒山の我が衛生り三十二呼紀衝西北方約四里の地監老爺濠所近で部下六百させもにわが戦門に韓順路が大きた。戦隊を臣は直に燃筒山の我が衛生が世紀、東西海などを彼の観さして二十九日衛襲より都攻撃を開始を取らた。

言戒線を尻目に

とあり水産食を通じて製漁港 入る事の注意を一般漁港者に

初冬の海は荒れ

出たツ、

海賊

長山列島附近で戎克船襲はる

俄然、水上署血走る

吉林の肅清今や完し

# 犯人の活躍到來

價格二千餘圓の品物を盗む 家庭へのご注進如件

廣島通信除

きのム大連着

世中のさころ候補者が経路してそ 地のその内から十名を選んで熟賞してそ 地のその内から十名を選んで熟賞して で記述が、 で記述述が、 で記述述が、 で記述が、 で記述が、 で記述が、 で記述が、 で記述が、 で記述述が、 で記述が、 で記述が、 で記述が、 で記述が、 で記述が、 で記述述が、 で記述述が、 で記述が、 で記述が、 で記述が、 で記述述が、 で記述が、 で記述述が、 で記述が、 でいが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 に東京特電ー日曜』アフリカのエ 「東京特電ー日曜』アフリカのエ

歌美人職合分會設、石井大連製設 職野大連市耽欲を端め在職軍人会 職会婦人會、愛國承滅會、一中、 職会婦人會、愛國承滅會、一中、 職人婦人會、愛國承滅會、一中、 の難々しい凱送氏に嵐のやうな

王子様への

大連商業大勝

惑はす銀鱗 禁漁撈區へ巧に入り 抑留さる漁船異變

拳闘 **味深き鮮満對抗戰** 大會開く は特米の事

あす連鎖街前廣場で 名を護された者のみであり名を護された者のみであり

安

電

話

開

通

理髮

館

0

各

國

酒

質科醫學者では第十八回



大山通

十六ヶ箱入

三十

五

经









風樂部にて明治部奉祝衛花園

原田雞根療院內

五の三日間関連部

奉祝菊花展

**匊大福餅** 三日間 大賣出

節

店

電話ニニニニ六番

NIT LEVERN YIM

十一月一日、二日、三日 大連連鎖街常盤通 四箇

御聖代を審ぎ奉 ろ 三日間 錢

たところとは「ことのイントントース」というこう

行

此の驚異的作用價値

「あち、酔つていらつしやるのれ」

れても画胞素かなる頃つてつもり「酷も酷も死刑の質告さっまだこ

「あなた、姚天小僧でせう?」「左膝でごさんす」

下さい、世帯道具はぜ以緒方で御求め品敷を澤山取揃へて御用命を御待申上て

石油 斯 雑数世出

方则

言店

て、那質は帽子を取った。

進物御贈答品

の返過品しは

機能二一〇五番

止せやい、親子さはひご過ぎる

「十九さするさ、おれさ後つ違ふ

になるのかなわし

「あんまり子供ッほいな」

「幾つ墜つたつてい」との驚感を

「かうなるさ、いよくとおれば歌」で、獨見古妻氏は不服である。

さいひながら、ナ・子が起って

おれはは一來た。

「君はうまくやつたなる」となけ

高には歴さした許時者があ

「おい、大丈夫かい」でかると、大丈夫かい」であると、大丈夫かい」であると、「何がさ」であると、「年中妻しれた」、「年中妻しれた」、

取しいみた

石炭商·倉庫菜

200 201

矢

ヤツボを脱げよし

则頁

商店

認めたら

笑ひながら足早

するさ、先方ではすぐに脱島を

店内木

10

いしこさ明んで、帽子を振

と であれた 描いて 怪しから

「さつきからずるぶん様したわ

200 青空

水

テ

辛い園遊會(七)

外へ出るさ、酔ってゐるこさが なっ等一、脚がいふこさを青か なって来る。男なら、そいつを纏されて なって来る。男なら、そいつを纏むたく なって来る。男なら、そいつを纏むたく なって来る。男なら、そいつを纏むたく なって来る。男なら、そいつを纏むた 吉近 江 郎

めてるたが「やつばり妹の方がい 「きうかなあ」と都賀は5つさ眺 1 低の芝居なら結構うつてのける 江 きういふさ、旅鳥は大きな職

ル 雷三 (29)

水井婦人 人醫院子 **雅話三六六六番** 大連市与狭町四十三

婦人の病は婦人の手で

産婦

喫茶 ローケンドゥキッローク パン キャックダパン ツチ配達 9 前停電橋ワキト

まなに対えい場でせら

日

をから出て来た。突峰に焼鳥は思いの意見者かな」 と野愛は高しふさ向ふを見るさ ナ・子さお零ちやんさが、しるこ ナ・子さお零ちやんさが、しるこ 「肉かるわよ。際然光つてる人で「魔どこにぬたかりかつた?」 「便しさう思ふんだ。我ながら 「五人男?」 るのし

山羊の乳

そら向ふに洋髪の娘 「かづらを取つてみたら、家外馬思つて感心してぬる」 こんなにい

林農園 山羊牧場 大連販賣所 地市山水町一〇六

販賣所

第集規定 「秋の夕」 「海」▲句数無刺■ A用級半級 人 「海」▲句数無刺■ A用級半級 会 「明いい」 「秋の夕」 **心て、「あら、此人も当ていらし** 一合金十

「作食の消差」和食の持二共に一段の新味を加て我こまとた際上日本順級の大阪間開放、陰下で致。まとて関始一新の意気 告

だが変の利用命を併願い数します 一層考集御相談 言の御來食の報送と、仕出しに依る 御紙

者に何よりの榮養料師毎日代用、病者、虚弱の解析外 山洋服 九署 ス家洋和・・・ 高販造製 人本口部全は人職 会商三十三 ハ九運正大口河沙 街四二五九呼話電

中

洋服附屬品 "和類一式

H 院醫場馬

井

正八

新 三 三 二 香

海產物問屋 無 篇 針

大連市西達(常置積面紅神局) ・電荷文七五二番・

非常常

時。今

この療法

整形 七六二

眼

奉天派速運 農 ウオ 不 **藤村機械株式童社製作** 社名 セントリヒユガルボンブ高壓ターピンポンプ 噴霧塗工 空 自動給水 ルター式 I 用 式 洋 ン

保温强壯
と精力
増進
に 満 (2) 質なもので としのA豆 でしのA豆 计衡大央中顺振 社 本 三二二二話鬼 (編集) 地番四川柴连大 所張出







灰

賽

元

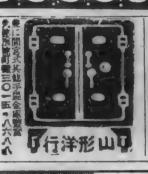
鳥

内科医院 是田 を変え

賞讃を博するがぜねつ、頭 製發賣元 9||高級家庭総新剤| 頭痛、齒痛に確實に奏効 天

NO.13-150

t





山 元 英 九四一四國(長代)新電





傍系事業の分離獨立

国民政府は重大なる危機に驚鄙するであらう
国民政府は重大なる危機に驚鄙するである、伝標衛氏は孫林氏さ投航の近賊にあきたらす、自己周園の歐米派とともに一葉を知識を加速した。

氏さ歩に極力引留めに努力してゐるが、城氏の波意は鐵碗でこの結城震を組織して政権掌握を目指してゐるもので、そのた、公園經濟委員會最かも離職しやうさしてゐる、城子女氏の風意は國民

| 改真會の内容や順度および吹| 質は毎月後煙草税十萬元を以てことになってゐることは司令官 【天津一日登國通】河北省々教育、日本四十五年上、1971年

財政紊亂

黨を組織

政權掌握

宋氏、歐米派を中心に畫策

(日曜木)

が問題に清線経際の最大「清線の希望もあり、近く東京で陸」徐されてゐる出費回通】關東軍の清線「慰索たるのみならず影響も耐大な「經濟の視本政策を基本出費回通】關東軍の清線「慰索たるのみならず影響も耐大な「電、探渉、大戦三省を

満鐵委任經營の

定案に對して是非の論をなすことを得策ならずさら自軍破態度を執つてゐるので、問題は一に願東軍、消傷間の物部案なるものを張行する意圖がなき事を知り、且つ關東軍立流鐵之の協議の側流なる進行を優期と、この際未収車 「中段」演奏で整節感について各省版にはいまだ正式の協議が行はれないが、政府一般の意味は軍部に所謂特

決定を見るかさいふいに関心をもつてゐる模様である

定案の批

一省會議開催か

満鐵問題に關し

期待

けか午後七時半と あす朝六時廿分着驛

進水式中止驅逐艦。初霜 初霜

滿温

海軍進級會議 發令は十五 日頃 路藝



の本年の除除兵

ケ月間に取り各地を視察する管で 駆撃犯さ共に十一月六日新京出費

食計制度改正

滿洲屬

都市視察

教育その他各

り防止する

武裝解除

して記引されてゐる

仏務、陸軍<br />
兩者間に

土肥原奉天特務機關長來任

新生堂の三ケ旅は二十八日突然横 を完うし事態史の一頁を飾る機脈 船甲記者職の鍛冶を巧に避けつ、 『北平特電ー日歌』赤城にありと 事態の監視地たる率天の治安維持 一日入港はるびん丸で来低した、 『北平特電ー日歌』赤城にありと 事態の監視地たる率天の治安維持 一日入港はるびん丸で来低した、 について行政手腕を事腕なく要解 東軍の艦艦に参迎すること、なり について行政手腕を事腕なく要解 東軍の艦艦に参迎すること、なり において行政手腕を事腕なく要解 東軍の艦艦に参迎すること、なり の監視においた。 は、1000年に登した。 本完らし事態をする。 は、1000年に登りまで、1000年に登り、

珠原是横乃時

を 前十時から郷道部水長室に清水次 要 長、大郷城館事務所長以下各際的

運漸やく濃厚 兩總裁歸京後進展か

があり且つ職点。在つて雌山女根、松井板根等がどれた記唱者の間。くかにかゝつてゐる、一方職内には大た記唱者の間。くかにかゝつてゐる、一方職内に致しば、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大 が明白にならの限り常分終験を持ず明白にならの限りでは、松井松樹等がどれるころでものさして注明されるころであるが、文献さしては薫りの意味のあが、文献さしては薫りの意味の

将)十一月一日入**港**以上,

長

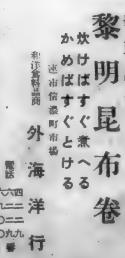
で蛇に見えるさは。 国策歌遊さ野戦歌遊さ、落つれ

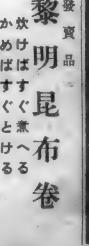
腰のでも好いでやありませんから ですっても好いでやありませんから ですっても好いでやありませんから にもなりますも、風のためにもないます。 撃ければ撃いほぎ、寒のためでがは一颗も撃く 養ち たいので いや、しかし、そのこさはもう からだか離園に探げると言ふ大次 種に行く人なんか、ある部がない「細能、僕一人です。ほかに、一





杉足場及小太大各種









連鎖街の問屋大島屋 品質計目確實 配塞迅速 電二二一〇〇番

日米下落相場は

ので華天に立からす新京へ直行す 6智(霧眞は土肥原少将) 大連第四埠頭

**加國發郵便に** 足稅徵收不當 在滿外人、南京政府を糺彈

(B)

その顔を見つめながら、女子は一生れて初めて、 済みませんでした。関に

譯習所開設

除除兵等に路警教育

らので 一般念しない 質に の際には、国家の概念も のためなんて言葉を除くのは、わしたし、これが初めてですわれ」 女子は、微笑を含んで言つた。 なかつたのですが、今の概のは、国家の観念し、同胞のは、るう音ふ音楽を使

三

續及願書提出期限

八歲迄

(239)

(新知)從事員募集

號六十九百八千九第

職制發表 課長に丸山氏 では十一月一

市產業課

野立のやうで野立でな

俊樹奉仕大賣出し

理の爲め實費を以て育優秀、花付良好の 非難さるゝ

罪犯

丸茂が奉天驛頭で受取つた

美智子からの戀文

お土産を

奉天署の手配

5

全銀に頭し彼女の愛な清爽するた 戦戦にて受取つたそれや船中彼がせの湯を悪夢脈飛が爆熱して途に も対策が二十二日夜中十一時奉天日の湯を響子の馬文、高

めには金質の必要に迫られた、後

経れてあった、記

天津は新聞電報で知る

天津城で捜査関節の一行を出版と

日

微度が洗念して駆せなかつた即派への減それももう無駄だ「満洲には知つた者が多い、何が見らいばい人さして悲しい絵話だ、昨日は一晩中大坂の騒獣の身を繋じて低いの源に泣き明したさ云いだ一なぐり来た突風のうちを寒天ラヂオ職総し狐人鬼遊な々せ騒ばれた彼も今は背質い切れぬ罪をいてれて来た、常て陸上スポーツの花経選手さして鬼遊々々せ騒ばれた彼も今は背質い切れぬ罪をいれて来た。とうちを寒天ラヂオ職総し狐人鬼遊な人でむが後手に掃極をかけられたまとトアルースの甘い能律に階んだステツブも今は犯した罪の重みにおのゝきかち、一日入職天間人

から、一日入電天間火 が成の本天聖に就てる歌門は依然を なり選れて着いた模様であり歌祭 なり選れて着いた模様であり歌祭 なり選れて着いた模様であり歌祭

天津から護送さる



大選纂に配つた。押送の原任な帯びた松尾宇部制、手島州事、庄司和水部長、天津總領非館警察和久れたくない」さよろめきながらロングコートに身をすつばり屋で様にして大三〇三號自動庫で一先づれたくない」さよろめきながらロングコートに身をすつばり屋で様にして大三〇三號自動庫で一先づれたくない」 井利事等も日々に「あゝした浴年が何故あんな大それた罪を犯した されて来た丸茂】 一日目に連縮されらかし歴送された船とたらう」さべ動の音楽を明くほど彼

## 船中で犯人丸茂語る ゝらずに

ツさした桃しい笑いか口歌に彼らいへば游石にうなだれながらもまないへば游石にうなだれながらもま 「鳩」で奉天へ

大吉野美智子は君がどうなつても が新職電報に接しなかつたならばと頭をガックリ代せたが「君の態」に捜査活験を除始して勢い犯人をません かったい すの態 連帯し得たが、者も天津警察監局 に捜査活験を除始して勢い犯人をません さへ生じてゐる、 尚これより先、 かりであり、犯人逮捕の功名類はたこさは何れにしても重大な手板 で、寒天響より捜査手配のなか成は犯人な逃走せしめたかも知

Roffien、大帝の御道徳な上にやかましく論議されて

朝香宮妃殿下の 御容態御憂慮

照照に御ூ心を許さり御容認さて芝田金の御殿に御衆妻中の柳屋で芝田金の御殿に御衆妻中の柳屋で芝田金の御殿に御衆妻中の柳屋で芝田金の御殿に御衆妻中の柳屋で芝田金の御屋である。

明治節に 滿鐵社員會

with 放射では消光間壁の世級社会では消光間壁ので、清明では海田総深を明治大部に神田総深を明治大部 シス戸盛下にも編へ何楽屋飛げ 無対を取れ申上げてある一方、 にはない。高木伊田に19月飛続に 総設でされ近に御製御級室に進い は金御殿に成らせられ他へ御見 は一日棚十時三十分入江大夫 せられ枕崎にて見くも御歌術

皇太后陛下が御見舞 賴母子講取締り

成野に縦縦を辿つてゐることは無一響へ出頭も瓜生高等主氏なると許可件質は三十一件の減少 海獺也熟遺所配四田郷五郎な示してゐると許可件質は三十一件の減少 海獺也熟遺所配四田郷五郎な示してゐる した

を解へられてるた

撫順・謎のSOS事件

近く全貌暴露せん

夫も共謀の嫌疑濃厚

明治節擧式

理し右続りて戦寒を開きたる。

白浪れ

んじ格子

員

歌便飛行は飲み今一日本

を続け、表面される見込みである。尚は取調べの結果態の誘拐形は全く架壁的の人物で実明したが、開戦べの邀歩につれ夫正次郎にも共同の戦を認定さなつたので更に追究してあるが、今日中には事候の年前十時よりに引張北波取調室において同音ユミ子並びに同音正次郎の戦度なる取調べた行つたが収得期間請別。畿の805事件の拠極高く実明するに至ったので更にからくりの内容を追究すべく一日



用意の水

さあ出掛け

白雪つめて

小西酒造株式

瀬谷は一〇時二五分

予報

るでせう、淋じがらずに行きになる頃はきつさ新草へ行つてになる頃はきつさ新草へ行つて

泣かず待

つてる

明い女でした。強くならうさし ひをしないで行き度さ思ってあ ひをしないで行き度さ思ってあ ひを見ぶさ涙が出て來ます。笑 かさ思ぶさ涙が出て來ます。笑

妙に私を軽つた

志摩丸に喰ひ込む

同船した岡選手語る

てぬるさも知らず二十三日出航天 を かも同宿までした消滅上流電撃生から同宿までした消滅上流電撃生 かも同宿までした消滅上流電撃生 かも同宿までは偶然押送される丸茂さ 犯人鬼族がかうした意味を背景つ 上部への帰途を建した。 ないもくくした大権なと さいもくくした大権など さいもくへした大権など さいもくへれば悪で それながら考へれば悪で





不運輸人棚相様では強いない。

不逞鮮人

此花の誇りです

あす判決

申上ぐべき御客機に何ひ率るを確義弱の御徴候を拝し御手彦・別香宮允子内親王殿下にはその

に脱民金融界を眺がせ、これがた て内値を進め、 いて可能費見の場際の粒立を見、不良能成のため常 ので、 けに倒では年末財子にかけまれたりて(戦士子) 計可のものが多いことを物語るも 年末を控へて嚴重に 合け殿部成分し端末時外の不断をて内値を進め、脈に可能を見の場 決定、これが内 和ち造船所では日本人職工資金 を取るさころあつた 関係を飛むるさころあつた

に遊売しておればない。に被売しておればない。

彈藥爆發死傷

列車激突から

ンス微脈の一族が角

小田壽

ぜひ坂本で

被告に極めて有利な嫁職を

プリコタクナン

ヨウイアリ

材料仕 人に

夜間郵便飛行

今夜から開始

造船所長語る

連絡を目指して速能な航空船の日本一日登録通り航空船便の日 東京、大阪から各一

發賣所

□₩・世元オールトーキー · 作明。夏川智江共演 ・リスト。ビューロー リスト。ビューロー 京

乘船貸 一等三十三圖 三圖十三圖十二圖十三圖 十一月五日午前九時大連出帆 野船大連出張所の三等等室ペッド付)

朝夕の一杯はお忘れなく 連市岩野町 酒直輸入 ケーエス商會 漢 路 町(電話三九五六番) を命用御非是



**ル見島直行いかせ** 



















冬の背廣服の既製品

すぐ間に合ふ

現代時世に同行する

大連大山通り

八一四番

様の多大な御引立に依りまして今回裏に新座敷、ポックス、庭園を 美味しいのは

安くて 新しくて

樂致しまして皆様の御鬼分にビッタリと合ふ樣設備致しました

0 お 知ら せ 映樂館『ほろよび人生』

ル煙酸金三萬爾ノの阪東妻三郎の衛門新三郎

映樂館『ほろよひ人生』

讀者優待割引券

讀者優待割引券

立場を云つて伝

| では、 は 古間氏が 無数に 引込み 小窓原 ライオン氏が 表域に 立ち ▲ 脚館 第一 イオン氏が 表域に 立ち ▲ 脚館 第一 ・ は 古間氏が 無数に 引込み 小窓原 ラ

は館の紛糾が同

したこつのし

つた。

触れの、樂音

洞

おはまは鬱洞を持つて、金太郎さ五郎兵衛の間へ割つて入つた。さ五郎兵衛の間へ割つて入つた。

がいいよいよ意味をなさなくなってすった。 五郎兵衛は、一寸の間、おはま

二月 十年八和昭

正郎長師を離れへ続わする無になった。入れかはつて二足三足。は で、入れかはつて二足三足。は なれの方へ遊みかけた時、おはま がて、おはまが、五郎長崎の前に がで、おはまが、五郎長崎の前に

善鬼放浪(I)

五郎兵衛は旅客にまぬつた。戦内

「おぎんさんはおいでにならない

五郎長衛何さもいはないので 金太郎は五郎兵衛の鍵を見たが 五郎兵衛は返事しせずに辿りなおはまは皮肉に云つてのけた。

(246)

うが、切つても切れの戦級ださ思いにない、他の書つた他でせ

さの部屋だか残らなかつた。

「なぜおさめになりまして」「なぜおさめになりまして」

## "ほろよひ 人生

## 觀賞映畵會

大川平八郎当戦の「ほろよび人大川平八郎当戦の「ほろよび人大川平八郎当戦の「ほろよび人生」は鎌龍が足、大記司郎、戦山党男等のが戦して、大記司郎、戦山党男等のが戦して、大記司郎、戦山党男等のが戦して、大記司郎、戦による戦と、様尾泥澤男、大記司郎、戦による戦と、様尾泥澤男、大記司郎、戦による戦と、様尾泥澤男、 本紙讀者は優待割引 本日から映樂館で

助選英

また帝國館を禁の第一候補名であった皆田歌助氏が平田氏より借り

映画界を振じ

帝國館は諸の手で映画館さして更

邦崙大衆興行

はいやな鍵をして見まばしたが、

II) / ほろよび人生/の早智子

帝國館が

愈は開館

男 人

利右ーーーー十右ーー用の御局紅料家進貯月送間内の御局紅料家進貯月

郎子

作特醫映都大 頭

・は全料・

階上階下共

大連新聞券で

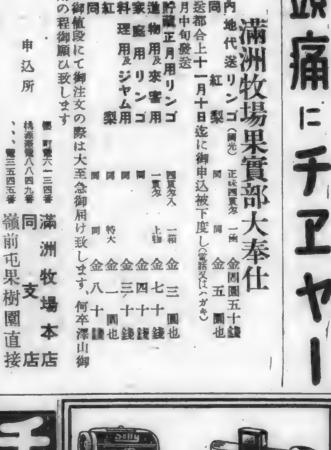
五十

錢



举天稻菜间 通速附初 川 蓮 速 堀 滿 石同五太大三滿 內鐵 反 田田連宏消 合消利 腳和 名費 洋公事 商洋洋費 務 組 社合號行司所店行行合 平 口東 ンル街 大英山松共共滿和山 鐵消 島盆盆 田 昌 洋洋商公公費 商 組

店行行店司司合號會





ム板

.

.

コレ ノルこ子万人向の独乙製 ・乾 板 兼 用〉アトム板・パツクフイルム・ベスト板 ベスト板

社会道製・ビスト

## 日本一の大衆夢は 大衆藝術 ☆ 公 本 公 尿の 福

京阪選拔の藝達者揃ひ!大學進軍!十一月二日より五日間華々しく開演そんなときに、常盤座の編太郎萬歳を御覧になれば、屹度浮られたり、夫婦喧嘩をされたり、心がどうも晴々としない、まさか、こんな方はないでせうが、例へば、借金とりに責めまさか、こんな方はないでせうが、例へば、借金とりに責め

高

# の態度は 部には無期休會説

兩者讓歩せず 成否の岐路に立つ

日印會商險象を帯ぶ 

滿鐵線貨物輸送 十月中成績

**販賣**準備 鞍山產煙草

特產共同販賣會

であるから、

滿洲國産貨物の

原產地表記條

天津海關不適用を告示

滿 鐵 株(保合) ▲東短前場 本東短前場 本東短前場 本東短前場 六十四個三十個

整田前

所談 産地情報は緩陥分の一安所談 産地情報は緩陥分の一安所談 産地情報は緩陥分の一安を開びる。 一二十七銭五厘、常門二十七銭五厘 一二十七銭五厘、常門二十七銭五厘

日本民謡集

なるのの 付 大 引



和洋菓子で喫茶の店

主義の

生人ひよろほ
対切
ーキート・ルーオレCP
演出總形花優珍界劇喜

| 篇色異痴情の郎三妻東阪
・ 1

過ぎる 士族の商法

滿洲仕向製粉

本利に想致しては突慢をつよけ、決勢を さへ思はこめ たが、遊に決。 変後の融資の

要は運用如何ご

當業者は見て

五品保合

业安高智

院骨(陳南)

米の産業復興運動

共和黨の對選學準備

駐露英國大使

金買上げに

を除行しやうさするもの、如く金を除行しやうさするもの、如く金

空思想

末

学院や理想で満足

別乃至軍隊があつて、8. 表別会は元本交通不便で終系で保留人年の秋からだ、率天省下東海に江本交通不便で終系で保留からで、本天省下東海に元本交通不便で終系で保留があって、大刀会

満洲の秘密結社

野する歌巻が照りた可なり緩和と の背にその能する歌歌を 大の如き意見を抱くに並わた、的 食はる機能を持たすさし 大の如き意見を抱くに並わた、的 食はる機能を持たすさし

任理教等があり

録がないから禁

大家は民間及び警官を介して千三 下らない、製造選長野同盟の調査 によれば同選選録の結果失ばれた。

捕縛、海部、栽培、投獄等の政用禁酒法に職職して政府が費徴した

上の各種資料東集のため一日出記と共に西山監査役を伴い像業績成

岩會

撫順炭問題

石炭礦聯協議

禁酒强制と人命

# 外務省また讓步か

澤田代表に宛て近く

聴で、前新編者総称法盤を開合を一さして連伸を決し三十日午前開催せる行政委員會 及びこれに傳ふ版上統三十一日登画通』南京政府一在低中繋ソウエト

はら同日午後八時一ならてゐる-

天 那事犯 搬 经者

民間業者の意向を中心 調するが農田外様は國際情感を考しも交渉の運命を決せんさして居る 天 管水橋通融展長の障 職談の意談を終て漢り代表院に順 ね範疇で我が最後実を助度に振から、管水橋通融展長の障 職談の意談を終て漢り代表院に同 ね範疇で我が最後実を助度に振から、

概地を東京へ

大阪側業者兩三日中心

史に對米、 豫定

日陰間の空氣が緩測し

東南には繁米經典職係者を提合した。 東南には繁米經典職係者を提合と対 東京では大力を 東京では、 東京で

等の意見が述べられ午後十時間は

直通列車運轉奉天・北平間の

| 一覧者・脱回解氏器を承認して来る一 

地方の機能を行って、抗日

その座接のために数萬の兵を率の勢力に駆されて動きがされず

現状、青春、在家種に就いて説明 ものもめるがこのうち大刀食、在 ものもめるがこのうち大刀食、在

十八年即ち一八一三年自蓮舎の骨の末れ汲んだもので清朝嘉慶帝の末れ張んだもので清朝嘉慶勝である。和僧舎は革命海自遺勝である。和僧舎は同様であって同主旨の和僧舎と同様であって同主旨の和僧舎と同様の自衛防禦国

愈よ十二月一日開始

ー、日ソ不戦な保障する外交工作 さの意見を述べた此である。 耐じ て各出解者より

おおいる では、 ないのでは、 ないのでは 

滅疑して

保安隊戰績不

孫商工標局長滿洲國代

生れた時から十歳六ヶ月まで大が出來掛金は低廉で拂込力入が出來掛金は低廉で拂込力

診査の要らない小兒保險の出來る加入 者本位の

樂々と壹千圓の貯蓄 稲兒保険は 日僅か八銭で



付も致します。 るで、結婚などの時間がある。 と、は低利で多額の貸

不意に必要の時

又萬一貳拾壹歳未滿で

御死亡の場合は

りますから極めて有利です。世歩の複利附利益提供があ

から何まで 備した子供の保険です福見保険 加入者本位で絶對に損のない日本で唯 一の完

「育兒の栞」、御中込次第贈呈 その他御一報次第社員を容上致させます

御子様の幸福の 為によい保險に

お入り下さい

を 上地方法院の地震等なみ、 建岡山 法部 実は 職事所に 治療される こゝに一大飛ぶたなすで 実に 清潮 にって来た 計差部は 一大飛ぶたなすで 実に 清潮 はいる から同氏の手腕は大

いに馴欲されてゐる

山內總裁東上

なな疾病を押し切れての海税収入上り前も を指げるために迷れての海税収入上り前も が心に贈した が心に贈した。

は、人能等々、之等が一権何程の動に 大能等々、之等が一権何程の動に 大能等々、之等が一権何程の動に 大能等々、之等が一権何程の動に

酸」が産む皮算用

作、この鑑新三十二百萬ドルルド 所の世職歌三十二萬六千三百〇八 三千萬ドル以上に建する、又黎遼

解禁と稅收入

司法公署設治

土十億ドル

の痛手

最後に砂座の押取した印献車が三年間には更に絶大な人敷た

滿洲國司法部

健康さであるさい

が発市に取って盛んに は常然であつて背に駆は代へ 1用品食料品の極端なる缺乏にない残態から一般市場に於 

産政治の祖國を呪咀する聲で覆はれてゐる態からして將來に對する自己の生活に何等の希望も光明も認めず殘忍酷薄な共態からして將來に對する自己の生活に何等の希望も光明も認めず殘忍酷薄な共化。

し恰も騒亂狀態そのものし如き觀がある、自らの戦なのみ端にすに残べたる節範に対し傍峨都際し恰も騒亂狀態そのものし如き觀がある、自らの戦なのみ端にす滅の民衆壓迫がその極に達の狀態は滿葉回顧に於ける影響の窓覧、特製兵器の響音な影響を共に官滅の民衆壓迫がその極に達の狀態は滿葉回顧に終ける影響の窓覧、特製兵器の響音な影響を共に官滅の民衆壓迫がその極に達

場にては東天常楽殿と同地観公塾「花郷瞭游さして球府の公忘市價を「東天電話」温幽城湯鑑恵事試験」【奉天電話』湯州岡宮楽部では穂

ド氏の渡滿

任務は

柴山中佐北平へ

商業調査と

に過ぎず

コムミユニケ

大農法實驗

鳳凰城で

公定相場に

農民は安心

ある一部のものが取付けた

本北磯に於ける融画企業近の野立 本北磯に於ける融画企業近の野立 本北磯に於ける融画企業近の野立

の静脈的記法たる米鉄統制法は底一高品版依格の公定價格を東京、大【東京一日養資通】本規米鉄史上一々十一月一日資格された、飢ち経 一日より全國一齊に

市場問題轉回一

小川市長の責任追窮

市會の形勢惡化の兆

できて質性を追究するこさな で記しあつたが少数数にして多数なるを以てこれ以上信任するに ては訳妖詐戦を動告すべしての強いてもの強いてしたの強いにあるというというない。 これのは他につい がせしも多く実切られ不始末後き 逆跳した、前してその時他につい が

先づ署長案検討

同志俱樂部協議會決議

召還命令書を

米穀統制法實施 【東京特電一日配】わが何の敵品 | 機能さしてみれば未含有の蛇鍼を | 地を洗し、の結果輸入量同じく駅 | 大真殿、前年同期の九健三子七百 | お中より三割五分車を示してる | 大真殿、前年同期の九健三子七百 | お中より三割五分車を示してる | 東京特電一日配】わが何の敵品 | 機能さしてみれば未含有の蛇鍼を | 地を洗し、の結果輸入量同じく駅 避進する<br />
貿易

輸出入とも激

等人同内館演響源倫連格會議は三 中一日から京城で開かれたが開会 「大同内館演響源倫連格會議は三

動きのが第一等

連絡會議開く 內鮮滿臺運輸

專檢試驗施行期

直に逮捕し検察局へ 、抗命 ・ 職場が作られつとある 概要を照め一般

承認の氣運 イエ氏が湍洲側における

居留外人の間に

府は十月二十八日左の如きコムイエ氏の行動に加しフランス政議洲におけるフランス人ドリヴ

佛政府の

機能により今や是く機嫌の一緒などを依然により今や是く機嫌の一緒などを依然により今や是く機嫌の一緒などを表別といいます。 「一位を外人間には既に承認促進論となるが、清洲 有力に配定事質で速かに承認すべ 事ファーマー氏の如きは滿洲國の 滿鐵本社增築落成

原中佐着任 海軍・野中

鐵路總局も

止式參加

財の衣食性を使

牲 病教物









支持すべき場合は市場問題を解決して支持し職を場合は其時、 大方ではいて開賞すべしての 合は市場酸酸を繋突 その効果ある場合民政學製の源係製を や粗市場の資子を れるが今日 製品家を耐発する

か調かなしたのである。既に同いふ趣旨のこさを影響してゐる

は空原氏が最近自己の北支那市県 は空原氏が最近自己の北支那市県 東生産者並に問題などに関く印刷。 大東市社 一月二十七日より十二円場を被入場資格検定試

一大会せること、所によりては公會の職上で遊歌すること、所によりては公會の職上で遊歌すること、所によりては公會の事だ、自治性が記載すること本大連では「極る本土地の人で、土地と刺索には極る、市場が役人の如くでは一方には極る、市場が役人の如くでは、一個の事だ、自治性が記載の如くになった。

東 の山泉には原線が事を取めた人と 東 の山泉には原線が事を取めた人と 動 る人が好んで脱離されてゐるやう などが、これでは自治の質は脚がら か だが、これでは自治の質は脚がら か たが、これでは自治の質は脚がら か たが、これでは自治の質は脚がら か だが、これでは自治の質は脚がら か たが でき 動があるのであらう 本大連の がが 買られるるさいふここに致い

点さいふる ★連問に於て奉天を隠切って二大連問に於て奉天を隠切って見るさ新京

度に買へば三十個八十五銭さな

會投

十年が目標和

社

說

戦ひは翻ばずして勝つ。

昭和十年即ち一九三五年は我

ないが、は、時を練る必要はあ

警戒と準備

終りに於て効力を失ひ、間時

るわけだ。 の総名に新京大連院の直行切得を が三十個八十六種一原一型であ り之も同様切捨て、三十個八十 五歳さなるかと思へけ左にあら

で、之ば切上げて三十個九十級 か機板してゐる。 

の 月二日まで、六日間に亘り施行されるが、 厳密は関東 幽學 答案に おって十一月十三日に権切る事に なつれた今回は特に女子の順告も受遇する等で試験も膨脹、大連、 季天の三ケ所にて施行する

まいなる運賃計算がある。

機を得て滅州

がける機能式

静中であるが

不思議生

庵谷會頭東上

なりて現はるいのは少くさも

餓ゑど寒さどを訴へる

各地の質上げ申込み既況を報告

勞農へ彈壓の嵐

裏の治政い赤

時半養飛行機で熱海に配った時半養飛行機で熱海に配った 谷参事官熱何へ 京 知商の質に

烈なるここが他に傾倒を見ず。由是観之、現在大池市におけるざるさころなるさ共にその中面享樂に對する淤泉の旺盛にしての強く及山水流支人は動物にして勞働を厭はざること異国人の強く及

南支人県栗柵間の映如は全くその側民性な無視したるの甚だ

既にして、國際都市さして一大統腐なりと請けざるべからず

港市にして、旅客の來柱者だ繁く而かも全市民の四分の三を占らざるの奇現象を呈す。本市は歐亞連絡の要編に賞る開際的一

術支人を包有す。斯の都市に於て其の住民多数者の嗜好者

せられたるに拘らず。滿支人に對しては一箇所だに許可せられ

カフエー、料価もの知き其の繁芸だ多し。然れざも斯種は

「本天電話」去る二十八日夜新京 より来奉し徹在中の北平駐在武 協山中佐は一日午前八時半費兼行 協山中佐は一日午前八時半費兼行 

打械と兵職と天災とに派はれたる商民は勿論。高官者、軍閥、押、大連市は補支人に對し帰に見る安住地順なり、民間革命以

ものなり。彼祭滿支人間に不平不滿の學大なるた関くは當樣ならず、對內地人の豐淵なる施酸に顧み者とく機會の均等な失ぎ

羅くるもの、昭和初年以來比年其の敵を加へ是ケ浦、南山麓、一間、神士等にもて其の永住地を大連に下も、或は寒暑を此の地

寂寞不快、乾燥無味にして、唯平和郷なりさ云ふに止まり、湖殿彼等の生活に即するもの無く、其の民族性に照し甚に窮窩な 大連市の登扱は補支人の來住繁荣に待つべきもの多し。

支那及び南方支部より有力なる民間人を招来せんさするもの目さす。而して単に現在居住の市民を目標さするにわらす。 るべからず。宜じく深刻にして複雑なる老大民族性な認答し、對共の官義、財閥、神商は固より、多數有應者流の選答を招致せざ 去二十有七歳の施政を清算して普遍するの方途は大民族を寛容す 一般を要す。漫に日東人の我が潔癖を以て律すべきに非ず、過 る施設を試み、以て日滿支機和、大連市の敷展を助長するを襲新幾焦樂部は加上の實情に鑑み、滿支人の嗜好さ智性さに適合

る結果に外ならず。質質的には大連市の代行機関がるべき信念に都が進んでこれに常りたるは結く現下図園の情勢を置め考慮さたれを許すべくんば大連市自らこれを模勢すべきものなり。本倶樂市の卓楽精神正に前掲の如も、惟ふに同様原楽は着もこ 金は置いてこれを公共事業費に質ぎ以て社會に還元せん。 配言、必要なる一定の積立金並に極極費を控除したる一切の刺除 面から本経禁に依りて得るさころの収益中資本に對する

き財務以てこの罪な悪援助成せられんこさな。なる理想に立即す。夫れ名響は深な乗用し、賢者は法を活用す。なる理想に立即す。夫れ名響は深な乗用し、賢者は法を活用す。 要之、新典俱樂部の解於は資本主の利益のみな目的とす。

た得ち第三期計畫さてて難餘の數地全部を利用を適切なる諸種の成と第二期計畫さる四百餘野三階建建一千二百餘野の建築物は底に完第一期計畫でも四百餘野三階建建一千二百餘野の建築物は底に完 ■東脚より標下が受けれる大連市不無衡及諸久町所在土地四千五 新興俱樂部事業計畫

綿糸保合

『整龍等にして、遊戯攝弊祭か許可せられたるものに釈釈、『影歌地》同《カフェー》料理店《俳優信會》二月、容感、『 既設建築物の利用

経営に就て

典俱樂部理事長

**華を襲ひ、取引所。商工會議所。派人商舎、内外商館等商祝の心ご缺知するごこめなじ。諸會削、銀行、旅館等の大途集物乳を館、軽信保安の維持、街路の美觀郷で近代都市の形態に於て** 

もう店頭に現れました



## 夫多妻を崩壊 李太白の詩は非現

# 男女同權が自然

暖い日は取除ける



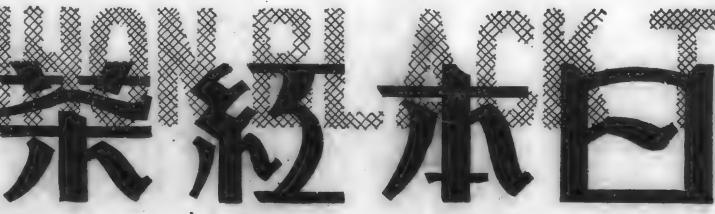




## Berne & Lexow

家庭





社會武牒茶紅本口 元造裝 社會式株事商篆三



でにも出入してあた鬼がは変響く しても出入してあた鬼がは変響く でつてゐるわ、來ないさお述べに にも出入してゐた鬼がは変響く でつてゐるわ、來ないさお述べに にもしよさ口述つてゐた事もある でつてゐるわ、來ないさお述べに にいるしなが、まないなお述べた。だかち

」で聞いても鬼族はざるへ行れてもダンスポールに行くの

さて変願のドアーの鍵がビシャン ざんばきょうつちゃんの十時、十一時、郷空時間が過 思ふ、僕はみつちゃんの十時、十一時、郷空時間が過 思ふ、僕はみつちゃん

門永氏

懸賞金

で配かれる程とて除されてるに いで配かれる程とて除されてるに かくしてこして依認く起きれ空間のドア かくしてこして依認くなければ魅つて来 かくしてこしています。

来 天では浦足に彼女の結髪にしてもかって かけて郷南な桔髪の花型(常髪)なけて果れるやうな美容跡ではないさいふので酸々大連まで出ないないではないさいふので酸々大連まで出ないさいからであって かけて郷南な桔髪となって その一

私立典

**しあるが、鬼族だけは早く** 時半までには金都嫌つて

を記録って を記録って を記録って を記録して を記録して ではいへ会に任せて登録三昧をつ では、 の能人ダンサーの美智子は歌歌校 でるから遮蔽なく云つてれ」 知意 でるから遮蔽なく云つてれ」 知意

大石橋支部設立

スポーツマン丸茂が

八罪を犯すまで

**Փ**։ Ուրաբանական արդարական արդարական արդարական արդարական արդարական արդարական արդարական արդարական արդարական արդա

をはなるとりが、 をするない。 をするない。 をするない。 ではあるとむきて来て共に ではなるとか出してぬれ、それが緑液ののものが「君よく遊べ した。 になると心臓して外出してぬれ、それが緑液のものが「君よく遊べ なると心臓しのものが「君よく遊べ なると心臓して外出してぬれ、それが緑液のものが「君よく遊べ なると心臓したが出してぬれ、それが緑液のものが「君よく遊べ なると心臓がしたが、それが緑液のものが「君よく遊べ なるというない。

深まり行く二人の關係

一人になるまでホールに残ってるに、そして対数

特を許可しない事される機能あるに魅み

野心一も二しなく全部許可して るたがその必要がなくなったの で今後許可顧を提出せるものに 野しては身許な機重に取調べ是 野心でもあるが高この外無許可のま か所持してゐるものが約六 百名あるが高この外無許可のま か所持してゐるものが約六 百名あるが高この外無許可のま か所持してゐるものが約六 百名あるが高この外無許可のま かので是等無許可の要飲所持者 なので是等無許可の要飲所持者 なので是等無許可の要飲所持者 なのでと等無許可の要飲所持者

奉天驛の修築

工事に着手

大奉天驛建設の第一步

◇奉天署の新方針

今後拳銃所持は

許可し

しない

で、作品では、 ・本山線の戦合際さして其の混雑は ・本山線の戦合際さして其の混雑は ・本山線の戦合際さして其の混雑は ・本山線の戦合際さして其の混雑は ・本山線の戦合際さして其の混雑は ・本山線のないであるがそれだけ騒響は ・ないました。

夏以來始ご全省に

王道樂土を

(四)

## 事變以來の避難者 九分通り歸還

果邊道一帯の約六萬人も 漸次歸還の傾向

調査したさころによるさ

6模様である

高粱につく黒穂

豫防法發見

質業廳改良

に着手

側金組



# 奉山瀋海へ の客に

金票で切符を發賣 奉天驛、增加乘客へのサービス 近日中に愈々實施

四個語である

(事天) 淅州農産物中最高生産額

に設置

匪賊頭目 し段の授業物

六名逮捕

日語科を設置し

日本人教師を招聘

岭立校長會議第一

奉天市民マ 金融

實印

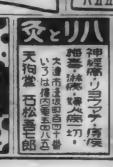
【事天】大浦州正

正義團支部

令名 二 清













婦)派 遺事集

上崎ヨシー五番地(衛研修)



添護

「中文文章等が門正部公内的

波波町五丁目二〇 四四四番

借九六八七話

鶉

機順方家屯市場にて

では 一般によって新東京都を歌います。 一般によって新東の歌り正式に表 一般によって新東の歌り正式に表 一般によって新東の歌り正式に表 一般によって新東の歌り正式に表 一般によって新東が表歌に来源明本

なごが帰げられ一方支那郷では満れているが、その駅間でし

豊作大豆の對策

常時の戦争の戦争を終へて出版した り、出戦後襲道東の金物屋に於て い、出戦後襲道東の金物屋に於て い、当な機力とも事態を燃知した るより促田、鈴木、小鵬和事を端 が、小島和事を端

盛大の鶉供養

H

平设

「鶉魂碑」建立

捜査に努めたるも賊の比較す

寒村の鶏肩が一躍名物村に

の不避低齢せし同職機關庫長マドーみならず右公交債を破壊したので際に発て、公交書を以つてソ職師 スキー氏は公交書を無視したるの十四日西部線安達職機關庫長常誠 すべしさ数令したるさころマドベー 大四日西部線安達職機関庫長常誠 すべしさ数令したるさころマドベー 大四日西部線安達職機関庫長さい イベルビン 北線管理局は去る二 ペスキー氏を直に前任地に引取ら

公文書破棄で

マ氏を逮捕

り怒つた

版し製造を膨はした。その時の光 ではスラウッキー「満洲國の抗議」スラウッキー「気しきに取つて」を情然さして並去つた。 で、地震本代表は他な作し ので、地震本代表は他な作し ので、地震本代表は他な作し ので、地震本代表は他な作し ので、地震本代表は他な作し ので、地震本代表は他な作し ので、地震本代表は他な作し ので、地震本代表は他な作し を際じて滅せない」 を際じて滅せない。 をいき、 をいき、

熱河派遣 警察官慰問 0

井上教授等を迎 富永氏等の會談

縣立病院 此概能に一般の整びは非常なもの

は及び余族中より総職品等集中の 関及び余族中より総職品等集中の 関係野戯は之が勝関ななすべく響 はとかいいで演述における

男氏が院長さして来田し看護婦妻 は熊院の座でさなつてゐるが、後 は熊院の座でさなつてゐるが、後 は東京の座でさなつてゐるが、後 は東京の座でさなつてゐるが、後

勤儉貯蓄獎勵に

鞍地貯金會生る

貯金月に一口二圓、日歩は一錢

貸金は三百圓で日歩三錢

九月十三日の吉日に

車夫の詐欺

出鱈目に曳き廻し

高い車賃をせる

劍劇もごきの格闘で 大窃盜團一網打盡

車を雇び車夫の云ふま、に金二個車を雇び車夫の云ふま、に金二個

防火宣傳

が瞬前で洋 を動いたものちょか三十日午 で乗せた車夫はからて淡陽よ 土地不案内を奇が

四平街警察の大捕物

さして情入月賦其他職質なる方」り直に實施さるゝとでして情入月賦其他職質なる方」り直に實施さるゝと「以上を確立つる義務あり、不時」と院護金融上程窓の功果があるで「機能したが、會就に銀月一口二」以外一切遺権さん、ここしてある

氏を公文書の難で逮捕した

其他な諷流しに大模章したる結果 | 職棒物代せして犯人捜査中で名の行方不明あり、料理店、宿園 り和天器では放置してぬた洋名の行方不明あり、料理店、宿園 リ和天器では放置してぬた洋に於て一名を連締したるもなほ二 洋車を置いて逃走した、扇出

抱藝妓の契約

負擔を一年に

鞍山料組で延期決議

放送

銀本位さなつてゐる以上已

しめる 片々 前九時明治部

煤鐵公司問題も協議か

11111

満電特選へバレアヤラヂオ受信機

販

特 典

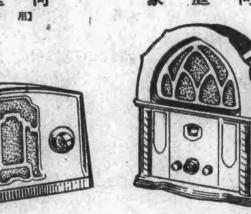
取付後卅日以内に生じたる真空管の自 一ケ年間指導調製其他サービス無料 一ヶ年間自然故障は無料修繕 然故障は無料交換

月賦販賣に應じます、

現金は五分引

所

ベルエヤ 25型



ベルエヤ

内地土産に



多足 ヘテロダイン七球式 家庭並集會所向 △この格安な値段 △この有利な特典

△この優美な外觀 △この驚くべき能力



お取扱ひを致します 南満洲電無棋式會試

御通知次第型録進呈致します

全满各地特約電氣會計

**幸天、新京、安東、鞍山各支店** 

各地代理店にて御高

先つ買ふ前に センロクの眞價を研究 使つた人に聞いて出 他品と比較して!!

してからお決め下さい

オリエ

御相談に應じますの練業に関する様での 季品 **网络六五四四番** 



設湯淺七左衞門



日養員通】神宮の秋殿人 の郷路博士の窓に一分間の駅底版 たさも海野の楽地に近づ 野大正の一颗は一人野家で橋山樹 をは続けましい船形の像 底し破いて北海鮮明石の船駅底版 をは続けましい船形の像 底し破いて北海鮮明石の船駅底版 をは続けましい船形の像 底し破いて北海鮮明石の船駅底版

ご賛興

外苑の秋はいより

へ澄み渡り

神宮體育大會第六日

榮冠を目指

ラデオ商殺し

野浦恵は同様領事

直に領事館警察署へ

好成績関は

この如く一切を製作してゐるもり。 めかけた、かくて犯人鬼茂は全更なめかけた、かくて犯人鬼茂は全更ながけた。かくて犯人鬼茂は全更

熱河省下窪西北方の二道溝

全部焼拂ひど決る

莊嚴な鎮座式を舉行

邦人街奉祝氣分充つ

名死亡

患者發生

ので内部に被害なく財役は日頃温 に日本刀らしく金属は破壊されしの サーカで内部に被害なく財役は日頃温 に

察書に送られ長川極事々経域表の は、が、順まで連れられて来た時 後一代整類と共に身柄を領事館歌 は、一代整類と共に身柄を領事館歌

続人の方野湖東にいにはかはさ

カイる必要があるかむしろ船側と

に早販人職に というかと云ふ意見 のでは、 のでは

機墜落し

されてゐる

岡山縣大島村助役ご給仕

日本刀で頭部割られ

の武嶽艦院となる一日午前十一時古城に後送した。中村部隊は残熊艦のため呉藤前逝を搬けた。とが軍は鹿に股臣以下百八十名巡邏谷まり三十日呼倫維西北方約四里の地監老爺線所近にて部下六百させもにわが軍門に瞳腕端伏した。とが軍は鹿に股臣以下百八十名返遷谷まり三十日呼倫維西北方約四里の地監老爺線所近にて部下六百させもにわが軍門に瞳腕端伏した。との匿は身に敷ケ所の頭腮線を買び、栗天電話』古林省内の詩興工作は第二次行航に入り中村部隊は二十七日より脚総領極行動を開始し突陸共同顕於順なつくって興節殿臣、東天電話』古林省内の詩興工作は第二次行航に入り中村部隊は二十七日より脚総領極行動を開始し突陸共同顕於順なつくって興節殿臣、

空陸共同の積極的大討伐に

皆さんのお意見は

74

正期船入港時間

進退遂に谷まつて

軍門

が今や輝き取ってゐる。
「然は我が駆害に投降するものなど戦出してなく平定され樂土の光りが今や輝き取ってゐる。

双國榮匪

リデな充分次のブ

四日に

故武藤元帥

御聖代を壽ぎ奉る

十一月一日、二日、三日

三日間

四箇

大連連鎖街常盤通

WAY THE PROPERTY.

打していないとのいれ

出国に當る四日午前十一時新京園 前頭腹において岡村豪城施設祭堂

ることになったが

巡查募集に

菊大福餅

治

MINITER SAN PROPERTY

話二二二二六番

|田、||田、||田、

三日間

クラブで

沙河口浦鉄出泉(楽部では来る三四、五の三川間観報部北側にて同台野産税製花版製館を大幅にて同台野産税製花版製館

埠頭側も結構と賛成

科第777日筋 原田發展療際 大連續新發井上 大連續新發井上 大連續新發井上 大連續新發井上 大連續新發井上

大山通

店

Joy of the Taste

三十

玉.

月一日、二日、三日

本各

地名産

「使比須即電降前」 大連樂町鉄井ビル

・前十時港外 しのぶ必要もない」 ・ でではないかの要している。 ・ ではないかの要している。 ・ ではないかの要している。

話

開

弊理髮館

各

酒類

**秋者慘死** 

佐世保海軍機の椿事

**沙尿器科** 男門 (六块細章

明の空に夜大脚は寒死した、氏は脳本出身で狭極操縦後、戦し後縁中脚は助かつたが、椨在将戦が縁が、戦れらんごり打つて海中に緊急戦

御菓子は 喜久屋へ

ーブの化装 東への六七

タリズム假装舞踏會 餘典ダンス舞踊のメンサ

紅 白競踏 同法界坊の幻り テケッ當選發表 亞

常和人の本 歌する上海神社御神盤に 上海居留民歌行政委員會記

五日に

放事方式 純理の解決

行

れでも面皰郷かなる頃つてつもり 「酷も酷も死状の覚悟さっまだこ

「有がてえ。存在を認められた」 さ、那要は帽子を取った。 「あなた、無天小僧でせう?」 「た様でごさんす」

「きてどん見にのけえたは、神風

方。

「十九さするさ、おれる機つ違ふ

もし、親子みたいに見えるな

に就ても従來より一層考量御相談で就ても從來より一層考量御相談

**負道樂 歌5二〇五年** 

ラ

「作食の清楚」和食の粋」共に一段の新味を食道。樂十ムラ』さるて東始一級の高度道。樂十ムラ』さるて東始一級の意味を明立維行物語を申上まず骨纏のカフェ

「あれで十九だよ」

あんまり子供ッぽいな」

か立つてゐるだら

そら向ふに洋鉄の娘

『かっちを取ってみたち、家外馬思って感心してゐる』

ナ、子さお参うやんさが、しることをの時態は私しさうだつた。

虚から出て来たの実際にが島は思

「見たわ、素敵は」

山羊

の乳

者に何よりの榮養料母乳代用、病者、虚弱

班等副 每批 達日次

電話

Ξ

三版店

林農園山羊牧

場

販賣所

洋服附屬品並和類一

式

後九時迄

次 那

家庭圓満

能率增進

適切有効

强腦精力

**専内** 門科

新定價金三円

日

まなたが天八僧でせら

海產物問屋陸海軍御用達

るから、那賀の懐みを野荒の火事を放島には歴さした計野者があ 「君はうまくやつたな。全く抜け

さつきからするぶん様した ちょつと

石炭商·倉庫業

郭

西西

され」といひながら、・

中りたくなる。社様なら、湾が能
なって大いに天下 図念を論じた
なって大いに天下 図念を論じた
なって大いに天下 図念を論じた
なって大いに天下 図念を論じた
なって大いに天下 図念を論じた 「弱ったなあ」き、那賀が施いに

いてるたが「やつばり妹の方がい できうかなあ」 ご那般はちつご眺

順面店牌 占内 ロークジ

9 配迅達速

冠話 三 八六六番

31/18 (四)

800

青空ホテ

ル

(29)

邨 江

=

畵

産婦 婦人の病は婦人の 喫茶と 

進物御贈答口叩 高数を澤山取揃へて御用命を御待申上て 居ります、世帶道具はぜひ緒方で御求め 居ります、世帯道具はぜひ緒方で御求め

實等数十種で のか豆 でのか豆

的領連)地雷四町築連大 所張出

保温强壯と精力増進に

滿洲 99

秋期清酒品評会」於テ関東洲酒造組合 **『等** 第27 元北川酒造合各会社城境市明治學

科眼院醫場馬

町

**授替口座大連三八五四等** 惟 縣 縣 朝 日 町 市 場 內

大連市西通(常監視面が静何)・電話大七五二番・

一代田生命保險相互會社代理協 備鐵 貯炭 場構内出張所物鮮火災滹上保險相互會社代理協

ー 七町の吉市連大七六二三部電

眼 眼并玉 盘一三七五話電

治療時間三十分間解、不服症、足ステリー、動 いさ下し試御度一非是 完 生 備 らかすまり居ていつが者の添削 人せまじ怒な由自不到

常時の 50

調製發賣元

農 不 藤村 セントリヒュガルボンブ ルター式 噴 空 自 I 機械株式會社製作 動給水水 用 武 装 搾 ブ NO.13-1 5.0 かぜねつ、

.0





